

3. 投資信託保有状況(全体・現在保有者)

(1) 投資信託の保有状況(全体)

投資信託の保有状況を見ると、「現在持っている」は 8.3%である。「以前持っていたが、現在は持っていない」は 8.3%で、「今まで持ったことがない」が 76.8%と大半を占める。

時系列でも、大きな変化はみられない。

対象者属性別にみると、性別では保有状況に大きな差はみられない。

年代別では、「現在持っている」「以前持っていたが、現在は持っていない」はともに年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられるが、「現在持っている」は 50 代以上が 14%台で並び、それ以上の伸びはみられない。20 代では「言葉も知らなかった」が 19.6%と高い。

年収別でみると、「現在持っている」率は“800 万円未満”の年収層では 10%以下であるが、「～1000 万円未満」の層では 30%台にのぼる。

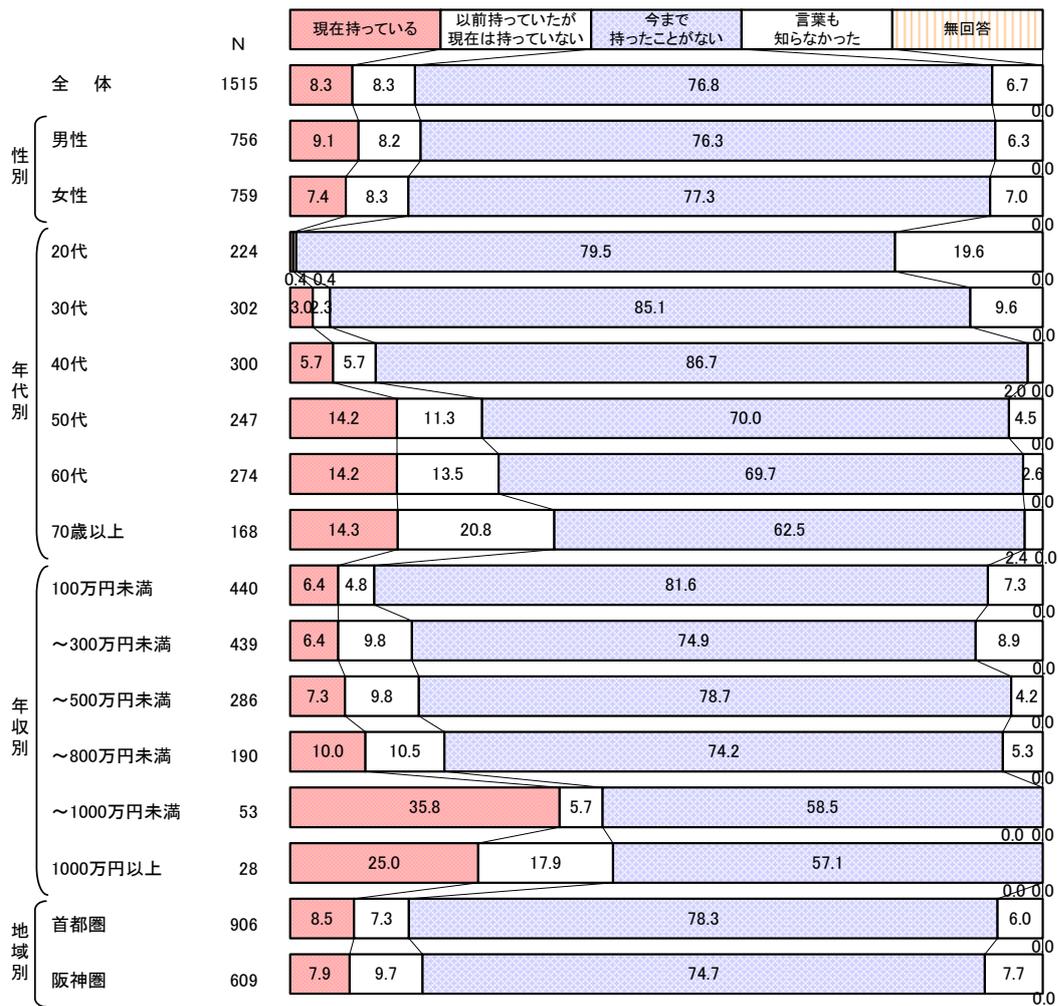
地域別では大きな差はみられない。

問 2 【投資信託の保有状況(単数回答)／時系列－全体ベース】

	N	現在持っている	以前持っていたが 現在は持っていない	今まで 持ったことがない	言葉も 知らなかった	無回答
平成25年	1515	8.3	8.3	76.8		6.7
平成23年	1509	9.4	6.6	76.5		7.4
平成22年	1514	9.8	7.0	75.6		7.5
平成20年	1507	11.1	4.2	78.4		6.2
平成19年	1517	10.1	5.1	80.4		4.3

問2【投資信託の保有状況(単数回答)／対象者属性別ー全体ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データをみる際に注意が必要。

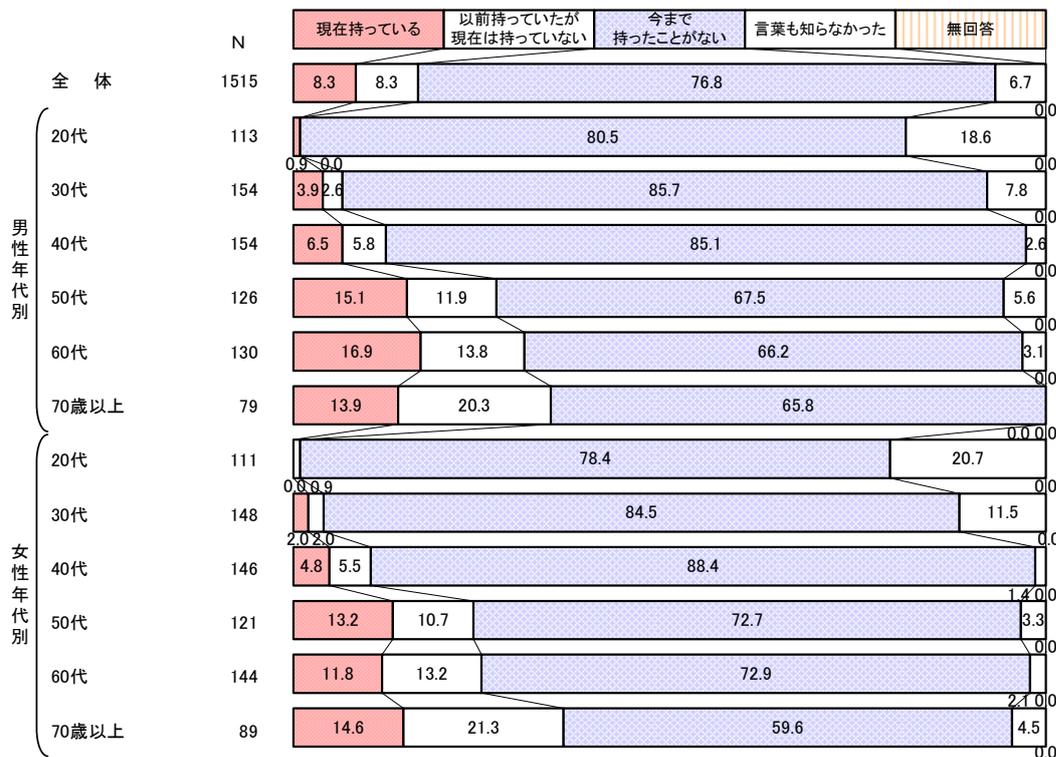


さらに、性別×年代別にみると、「現在持っている」「以前持っていたが、現在は持っていない」ともに、男女とも年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられる。ただし、「現在持っている」率は50代以上ではほぼ一定で伸びはみられない。

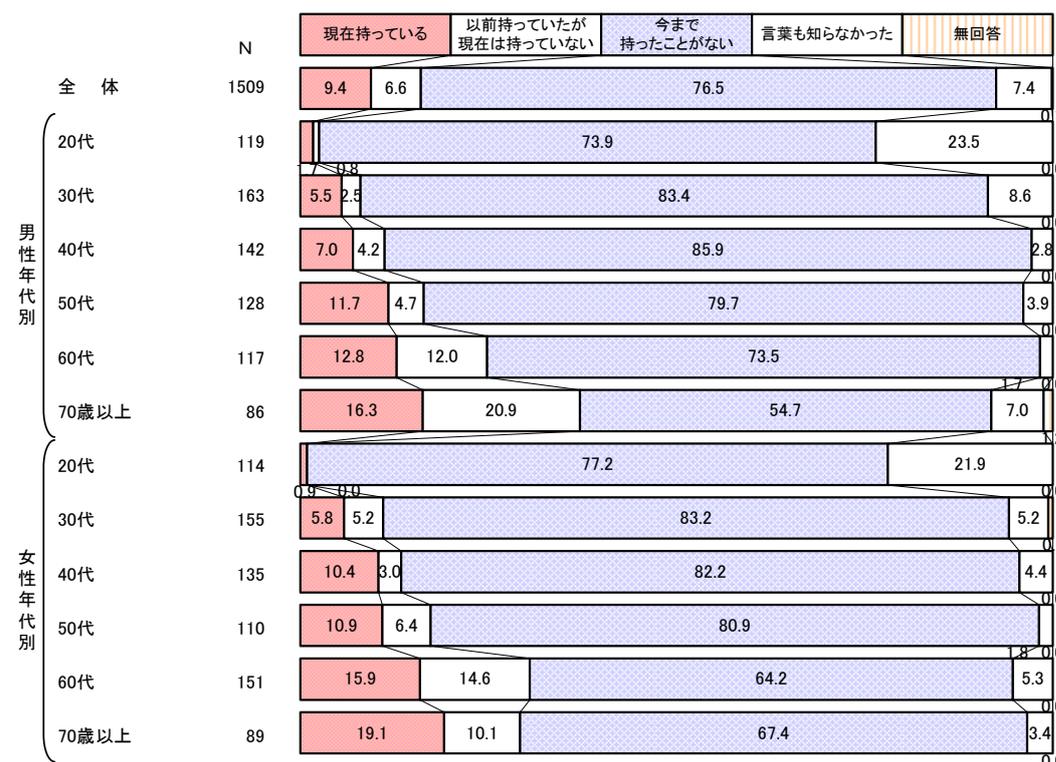
各年代別に時系列でみると、「今まで持ったことがない」率は、男性50代で前回より低くなったが、男性70歳以上では前回より高くなっている。

問2【投資信託の保有状況(単数回答)／性別×年代別】

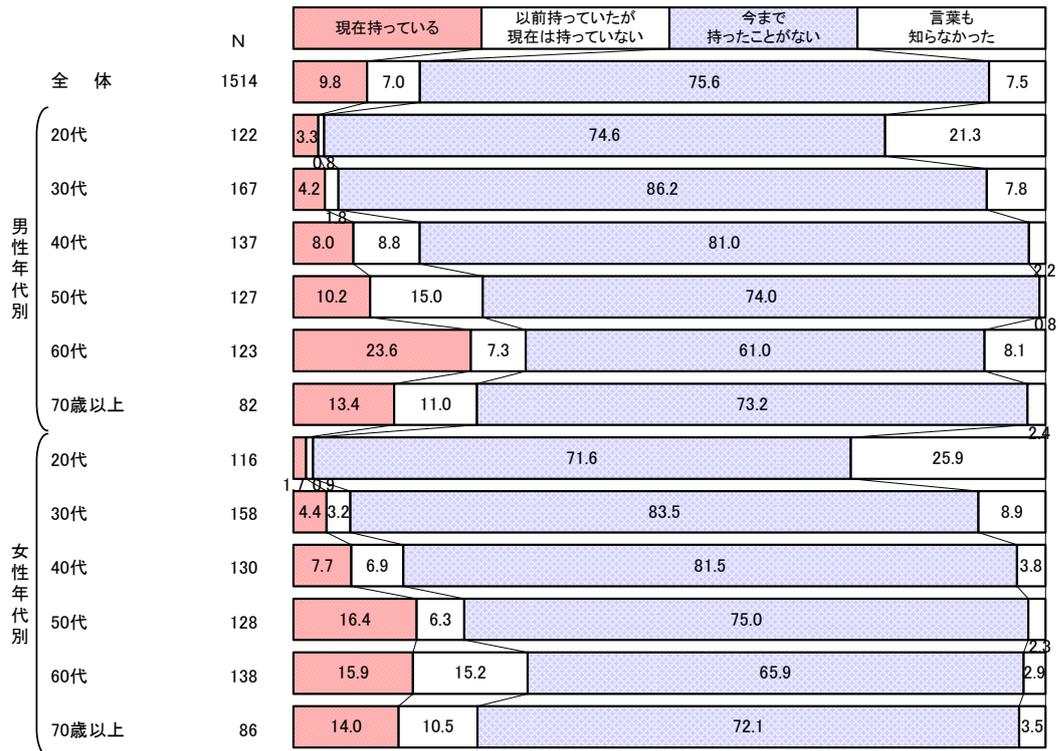
<平成25年>



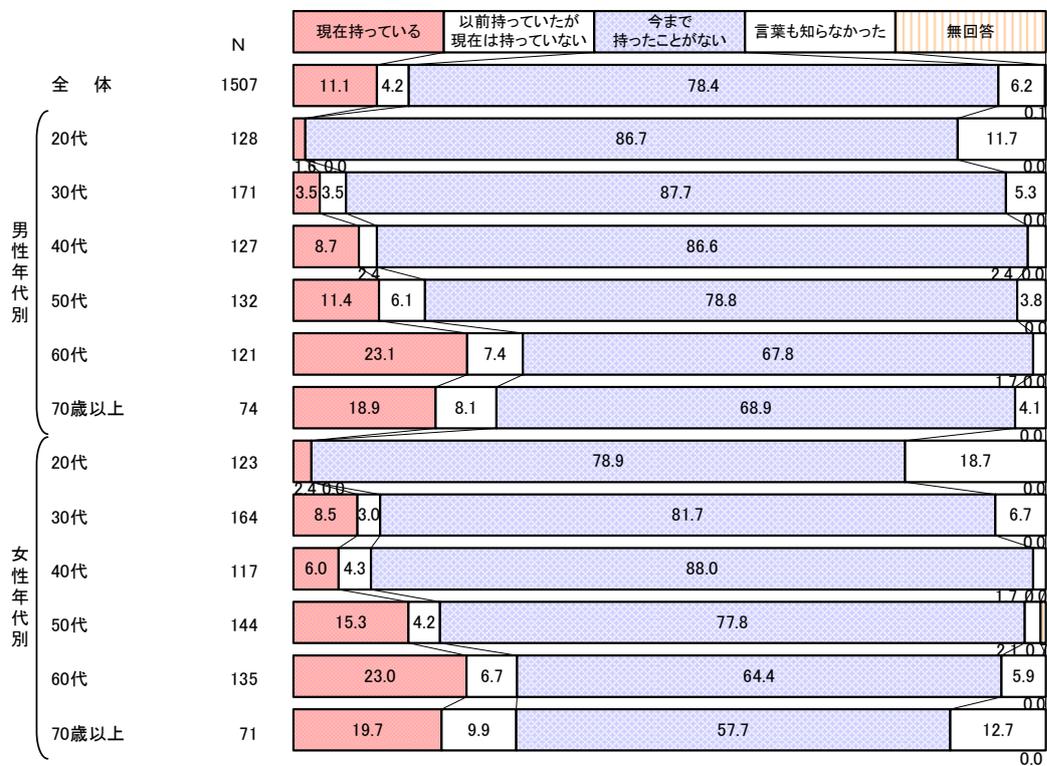
<平成23年>



<平成 22 年>



<平成 20 年>



(2) 投資信託保有者の特徴(現在保有層)

次に、現在投資信託を保有している人(現在保有層)の特徴をみてみよう。

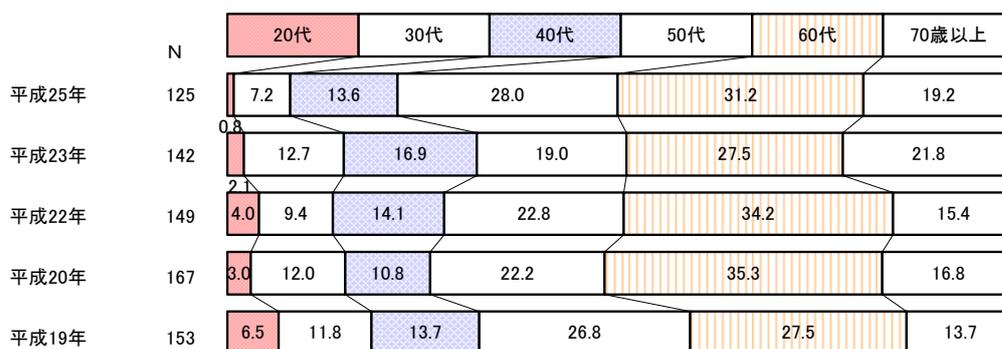
年齢別構成比は「60代」が31.2%と最も高い。『60代以上』は、調査対象者全体でみると29.2% (117ページ【対象者年齢/時系列】グラフ参照)であるが、現在保有層では50.4%と半数を占め、高年齢層寄りとなっている。

時系列でみると、前回以前に比べると「50代」の比率(28.0%)が9.0ポイント上昇し、『40代以下』の比率(21.6%)が10.1ポイント低下した。

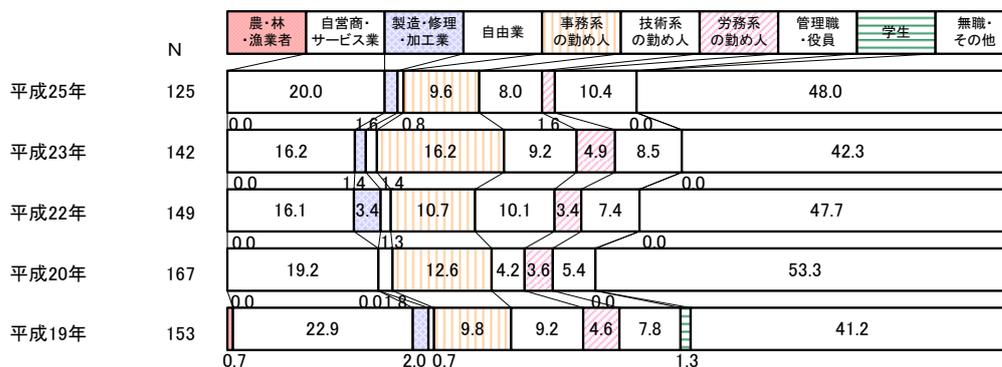
職業別構成比では、「無職・その他」が48.0%とほぼ半数を占める。次いで「自営商・サービス業」が20.0%で多く、「管理職・役員」(10.4%)と「事務系の勤め人」(9.6%)がほぼ同率で並び、「技術系の勤め人」(8.0%)が続く。

時系列でみると、「無職・その他」の減少傾向は今回止まり、前々回レベルに戻った。「管理職・役員」は平成20年以降、微増傾向が続いている。一方、「事務系の勤め人」は前回より6.6ポイント減少した。

【投資信託現在保有層の年齢別構成比(単数回答)/時系列】



【投資信託現在保有層の職業別構成比(単数回答)/時系列】



(3) 投資信託の保有種類(現在保有層)

現在保有層における投資信託保有種類としては、「株式投資信託」が64.8%で最も高い。「外国で作られた投資信託」(36.8%)と「公社債投資信託」(31.2%)は同程度であり、「不動産投信」も24.8%みられる。

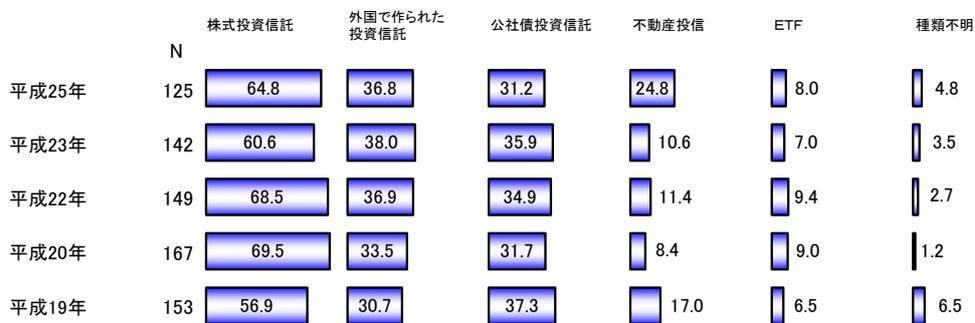
時系列でみると、「不動産投信」が平成23年に比べ、倍増している。

投資信託保有種類数を回答サンプルで除して平均保有種類数を求めると、1.66種類であり、前回の1.52種類よりやや増えている。

性別でみると、「株式投資信託」の保有率には大きな差はないが、女性は男性に比べ「外国で作られた投資信託」を保有している率が高い。

なお、参考までに、投資信託の種類別保有率を調査対象全体ベースに換算すると、「株式投資信託」は5.3%となる。

問3①【投資信託の保有種類(重複回答)／時系列－現在保有層ベース】



問3①【投資信託の保有種類(重複回答)／対象者属性別－現在保有層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	株式投資信託	外国で作られた投資信託	公社債投資信託	不動産投信	ETF	種類不明	平均保有種類数
全 体	125	81	46	39	31	10	6	1.66
性別 男性	69	47	21	22	17	6	3	1.64
性別 女性	56	34	25	17	14	4	3	1.68
年代別 20代	1	-	-	1	-	-	-	1.00
年代別 30代	9	5	1	1	1	1	2	1.00
年代別 40代	17	12	7	9	4	3	-	2.06
年代別 50代	35	20	14	12	10	-	1	1.60
年代別 60代	39	30	14	9	10	6	2	1.77
年代別 70歳以上	24	14	10	7	6	-	1	1.54
年収別 100万円未満	28	14	14	9	3	1	-	1.46
年収別 ~300万円未満	28	19	11	9	8	3	1	1.79
年収別 ~500万円未満	21	11	7	7	6	1	2	1.52
年収別 ~800万円未満	19	16	3	4	4	1	-	1.47
年収別 ~1000万円未満	19	11	9	6	5	3	3	1.79
年収別 1000万円以上	7	7	1	4	2	1	-	2.14

問3①【投資信託の種類別保有率(重複回答)／時系列－全体ベース】

【参考－現在保有層ベース】
(平均保有種類数)

(%)

	全 体	株式投資信託	外国で作られた投資信託	公社債投資信託	不動産投信	ETF	種類不明
平成25年	1515	5.3	3.0	2.6	2.0	0.7	0.4
平成23年	1509	5.7	3.6	3.4	1.0	0.7	0.3
平成22年	1514	6.7	3.6	3.4	1.1	0.9	0.3
平成20年	1507	7.7	3.7	3.5	0.9	1.0	0.1
平成19年	1517	5.7	3.1	3.8	1.7	0.7	0.7

	全 体	平均保有種類数
平成25年	125	1.66
平成23年	142	1.52
平成22年	149	1.61
平成20年	167	1.54
平成19年	153	1.59

(4) 投資信託の購入額(現在保有層)

現在保有層における投資信託の保有種類別購入額をみると、「株式投資信託」や「外国で作られた投資信託」は「～300万円未満」が約40%で最も多くを占めるのに対し、「公社債投資信託」は「100万円未満」が約50%を占め、低額しか購入していない率がやや高い。

平均購入額をみると、「株式投資信託」(372.5万円)、「不動産投信」(333.3万円)、「外国で作られた投資信託」(309.8万円)、「公社債投資信託」(256.4万円)の順となっている。

平均購入額を時系列でみると、「株式投資信託」は過去2回減少していたが、今回は前回に比べ130.7万円増加し、平成19年以降最高額となっている。

なお、1人あたりの合計購入額の平均は473.4万円であり、これも前回より約83.2万円上昇し、平成19年以降最高額となった。

問3②【投資信託の保有種類別購入額—現在保有層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	100万円 未満	～300万円 未満	～500万円 未満	～800万円 未満	～1000万円 未満	1000万円 以上	投資額 不明
株式投資信託	81 100.0	21 25.9	32 39.5	10 12.3	7 8.6	2 2.5	8 9.9	1 1.2
外国で作られた投資信託	46 100.0	14 30.4	19 41.3	6 13.0	3 6.5	1 2.2	3 6.5	-
公社債投資信託	39 100.0	19 48.7	9 23.1	5 12.8	3 7.7	2 5.1	1 2.6	-
不動産投信	31 100.0	11 35.5	11 35.5	3 9.7	1 3.2	1 3.2	3 9.7	1 3.2
ETF	10 100.0	6 60.0	3 30.0	-	-	1 10.0	-	-
合計購入額	125 100.0	20 16.0	37 29.6	18 14.4	12 9.6	8 6.4	14 11.2	16 12.8

時系列 投信平均購入額(万円)

(上段:万円)(下段:人)

	H25年	H23年	H22年	H20年	H19年
株式投資信託	372.5 81	241.8 86	307.9 102	345.2 116	342.9 87
外国で作られた投資信託	309.8 46	310.4 54	275.9 55	248.2 56	390.4 47
公社債投資信託	256.4 39	241.2 51	253.9 52	249.0 53	259.8 57
不動産投信	333.3 31	133.3 15	400.0 17	328.6 14	332.0 26
ETF	180.0 10	115.0 10	167.9 14	396.4 15	320.0 10
合計購入額	473.4 125	390.2 142	410.1 149	412.9 167	432.2 153

(5) 株式投資信託の保有種類と購入額(現在保有層のうち株式投資信託保有者)

現在保有層のうち、株式投資信託保有者が保有している株式投資信託の種類は「国内株式に主に投資する株式投信」(53.1%)が最も高く、次いで「外国債券に主に投資する株式投信」(38.3%)、「外国株式に主に投資する株式投信」(25.9%)、「不動産投信に主に投資する株式投信」(24.7%)、「様々な資産に投資する株式投信」(19.8%)の順に続く。

時系列でみると、平成20年以降「国内株式に主に投資する株式投信」保有率は上昇傾向が続いたが、今回は平成22年レベルに低下した。一方、「不動産投信に主に投資する株式投信」は前回よりほぼ倍増した。

株式投資信託の保有種類数を回答サンプルで除して平均保有種類数を求めると、1.70種類であり、時系列でみても大きな変化はみられない。

また、対象者属性別では、男性は女性に比べ「国内株式に主に投資する株式投信」や「外国株式に主に投資する株式投信」の保有率が高く、平均保有数も男性の方が多い。

なお、株式投資信託の保有種類別に投資額をみると、「国内株式に主に投資する株式投信」は263.1万円、「外国債券に主に投資する株式投信」は361.3万円等となっている。

問4①【株式投資信託の種類別保有率(重複回答)／時系列

－現在保有層・株式投資信託保有者ベース

(上段:N)(下段:%)

	全 体	国内株式に 主に投資する 株式投信	外国債券に 主に投資する 株式投信	外国株式に 主に投資する 株式投信	不動産投信に 主に投資する 株式投信	様々な資産に 投資する 株式投信	よく わからない	その他	投資先不明	平均保有 種類数
平成25年	81 100.0	43 53.1	31 38.3	21 25.9	20 24.7	16 19.8	6 7.4	1 1.2	-	1.70
平成23年	86 100.0	53 61.6	31 36.0	21 24.4	11 12.8	17 19.8	4 4.7	1 1.2	-	1.60
平成22年	102 100.0	51 50.0	46 45.1	25 24.5	15 14.7	28 27.5	-	8 7.8	1 1.0	1.70
平成20年	116 100.0	48 41.4	52 44.8	30 25.9	11 9.5	37 31.9	-	5 4.3	1 0.9	1.59
平成19年	87 100.0	45 51.7	28 32.2	13 14.9	9 10.3	17 19.5	-	3 3.4	15 17.2	1.60

※ 平成23年より「よくわからない」を追加。

問4①【株式投資信託の種類別保有率(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・株式投資信託保有者ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	国内株式に 主に投資する 株式投信	外国債券に 主に投資する 株式投信	外国株式に 主に投資する 株式投信	不動産投信に 主に投資する 株式投信	様々な資産に 投資する 株式投信	よく わからない	その他	投資先不明	平均保有 種類数
全 体	81 100.0	43 53.1	31 38.3	21 25.9	20 24.7	16 19.8	6 7.4	1 1.2	-	1.70
性別										
男性	47 100.0	31 66.0	17 36.2	16 34.0	13 27.7	9 19.1	1 2.1	-	-	1.85
女性	34 100.0	12 35.3	14 41.2	5 14.7	7 20.6	7 20.6	5 14.7	1 2.9	-	1.50
年 代 別										
20代	0 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30代	5 100.0	4 80.0	2 40.0	1 20.0	-	20.0	-	-	-	1.60
40代	12 100.0	7 58.3	4 33.3	3 25.0	3 25.0	3 25.0	-	-	-	1.67
50代	20 100.0	12 60.0	8 40.0	8 40.0	5 25.0	7 35.0	3 15.0	-	-	2.15
60代	30 100.0	13 43.3	12 40.0	8 26.7	8 26.7	3 10.0	3 10.0	-	-	1.57
70歳以上	14 100.0	7 50.0	5 35.7	1 7.1	4 28.6	2 14.3	-	1 7.1	-	1.43
年 収 別										
100万円未満	14 100.0	3 21.4	6 42.9	3 21.4	-	3 21.4	3 21.4	-	-	1.29
～300万円未満	19 100.0	5 26.3	6 31.6	4 21.1	6 31.6	4 21.1	2 10.5	-	-	1.42
～500万円未満	11 100.0	7 63.6	4 36.4	-	1 9.1	2 18.2	-	1 9.1	-	1.36
～800万円未満	16 100.0	12 75.0	6 37.5	6 37.5	3 18.8	1 6.3	-	-	-	1.75
～1000万円未満	11 100.0	9 81.8	5 45.5	3 27.3	3 27.3	3 27.3	-	-	-	2.09
1000万円以上	7 100.0	4 57.1	2 28.6	2 28.6	4 57.1	3 42.9	1 14.3	-	-	2.29

問4②【株式投資信託の保有種類別購入額－現在保有層・株式投資信託保有者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

	全 体	100万円 未満	～300万円 未満	～500万円 未満	～800万円 未満	～1000万円 未満	1000万円 以上	投資額 不明	平均投資額 (万円)
国内株式に主に 投資する株式投信	43 100.0	14 32.6	19 44.2	4 9.3	3 7.0	-	2 4.7	1 2.3	263.1
外国債券に主に 投資する株式投信	31 100.0	8 25.8	11 35.5	7 22.6	2 6.5	-	3 9.7	-	361.3
外国株式に主に 投資する株式投信	21 100.0	7 33.3	6 28.6	3 14.3	3 14.3	-	1 4.8	1 4.8	310.0
様々な資産に 投資する株式投信	16 100.0	6 37.5	7 43.8	1 6.3	1 6.3	-	1 6.3	-	265.6
不動産投信に主に 投資する株式投信	20 100.0	6 30.0	6 30.0	2 10.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0	1 5.0	407.9
よくわからない	6 100.0	1 16.7	3 50.0	-	-	2 33.3	-	-	408.3
その他	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-	-	200.0

(6) 投資信託の積立投資の利用（現在保有層）

投資信託の積立投資を利用している（「はい」の比率）は15.2%であり、利用していない（「いいえ」の比率80.0%）が圧倒的に多い。

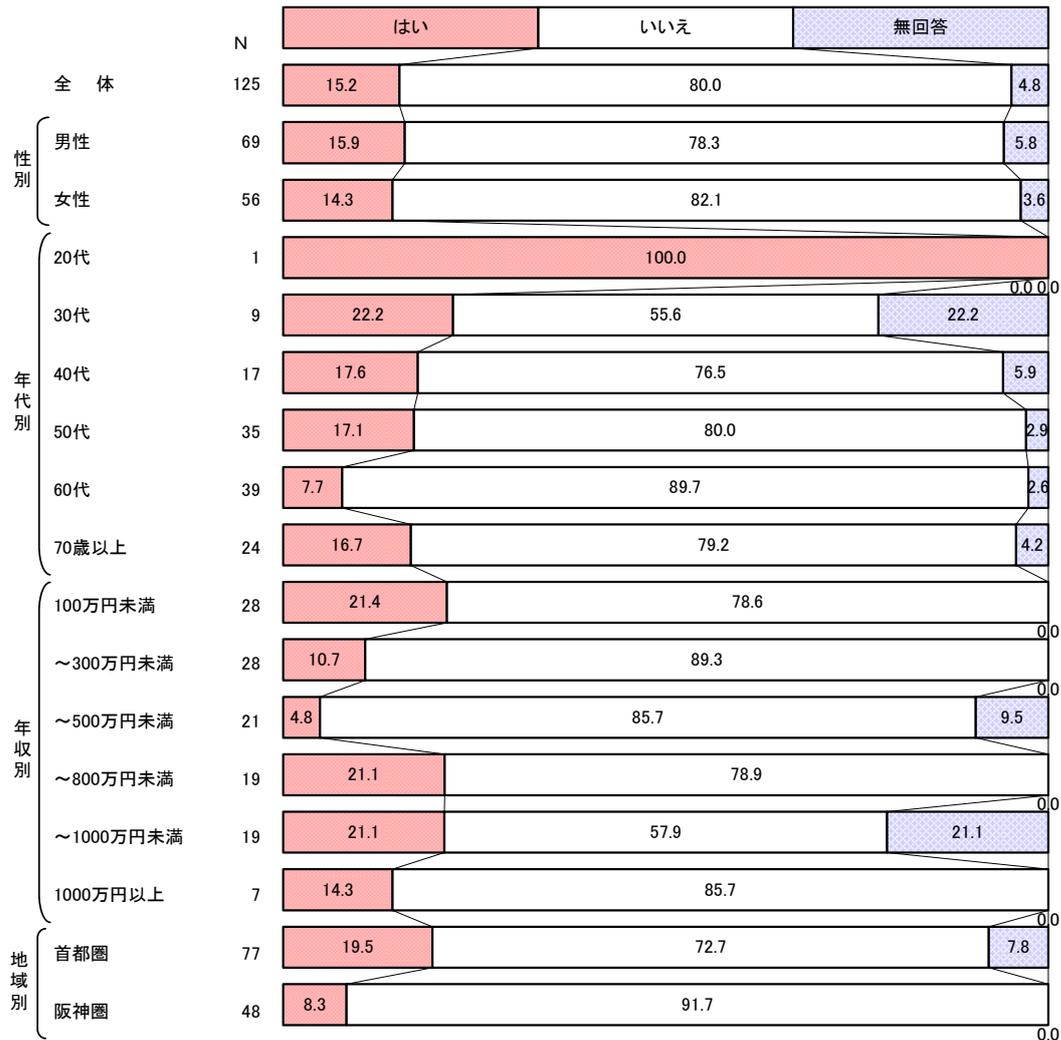
対象者属性別では、性別でみると、利用率には差がみられない。

年代別と年収別はサンプル数が少ない層が多いため、コメントを割愛する。

地域別では、首都圏の方が阪神圏より利用率が高い。

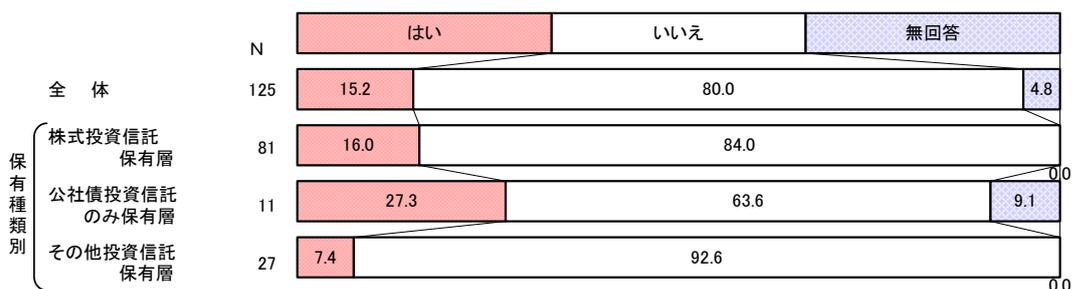
問5【投資信託の積立投資の利用（単数回答）／対象者属性別－現在保有層ベース】

※N数（サンプル数）が少ない項目については、データをみる際に注意が必要。



問5【投資信託の積立投資の利用(単数回答)／保有種類別－現在保有層ベース】

※N数（サンプル数）が少ない項目については、データをみる際に注意が必要。



(7) 投資信託の積立投資の形態（積立投資利用者）

投資信託の積立投資の形態としては、N数（サンプル数）が少ないため参考値ではあるが、「確定拠出年金」と「財形貯蓄」がともに20%台、それ以外の「証券会社や銀行、投資信託会社の積立投資」が50%台となっている。

対象者属性別・投資信託保有種類別は、サンプル数が少ないためコメントを割愛する。

問5-1【投資信託の積立投資の形態（重複回答）／対象者属性別

－現在保有層のうち積立投資利用者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

		全 体	確定拠出年金	財形貯蓄	それ以外の証券会社等の積立投資	わからない	無回答
全 体		19 100.0	5 26.3	4 21.1	10 52.6	1 5.3	-
性別	男 性	11 100.0	4 36.4	3 27.3	4 36.4	-	-
	女 性	8 100.0	1 12.5	1 12.5	6 75.0	1 12.5	-
年代別	20代	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-
	30代	2 100.0	1 50.0	-	-	1 50.0	-
	40代	3 100.0	-	1 33.3	2 66.7	-	-
	50代	6 100.0	3 50.0	1 16.7	2 33.3	-	-
	60代	3 100.0	-	-	3 100.0	-	-
	70歳以上	4 100.0	1 25.0	2 50.0	2 50.0	-	-
	年収別	100万円未満	6 100.0	1 16.7	1 16.7	4 66.7	1 16.7
～300万円未満		3 100.0	-	-	3 100.0	0	-
～500万円未満		1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
～800万円未満		4 100.0	-	1 25.0	3 75.0	-	-
～1000万円未満		4 100.0	3 75.0	1 25.0	-	-	-
1000万円以上		1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
地域別	首都圏	15 100.0	3 20.0	4 26.7	7 46.7	1 6.7	-
	阪神圏	4 100.0	2 50.0	-	3 75.0	-	-

問5-1【投資信託の積立投資の形態(重複回答)／保有種類別

－現在保有層のうち積立投資利用者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

(上段:N)(下段:%)

		全 体	確定拠出年金	財形貯蓄	それ以外の証券会社等の積立投資	わからない	無回答
全 体		19 100.0	5 26.3	4 21.1	10 52.6	1 5.3	-
保有種類別	株式投資信託保有層	13 100.0	5 38.5	2 15.4	7 53.8	-	-
	公社債投資信託のみ保有層	3 100.0	-	1 33.3	2 66.7	-	-
	その他投資信託保有層	2 100.0	-	1 50.0	-	1 50.0	-

4. 投資信託購入状況(現在保有層・保有経験層)

(1) 投資信託購入のきっかけ

投資信託を購入したきっかけは、「証券会社や銀行等の人から勧められて」が 56.4%で最も高く、他を大きく上回る。次いで、「家族・友人から良いという話を聞いて」(24.0%)が高く、「新聞や雑誌記事等で良さそうだったので」(14.0%)と「商品広告等を見て良さそうだったので」(13.2%)がほぼ同率で並ぶ。これに続き、今回新規の「景気や市場の状況を見て」が 11.6%みられる。

時系列でみると、「証券会社や銀行等の人から勧められて」は前回上昇したが今回は低下し、平成 22 年と同レベルに戻った。「新聞や雑誌記事等で良さそうだったので」と「商品広告等を見て良さそうだったので」も前回より高くなった(順に 5.7ポイント、5.3ポイント)。

対象者属性別にみると、性別では男性は女性に比べ「証券会社や銀行等の人から勧められて」が低い。一方、「新聞や雑誌記事等で良さそうだったので」「景気や市場の状況を見て」「インターネットで良さそうだったのだ」が高く、男性の方が能動的に情報収集している様子がうかがえる。

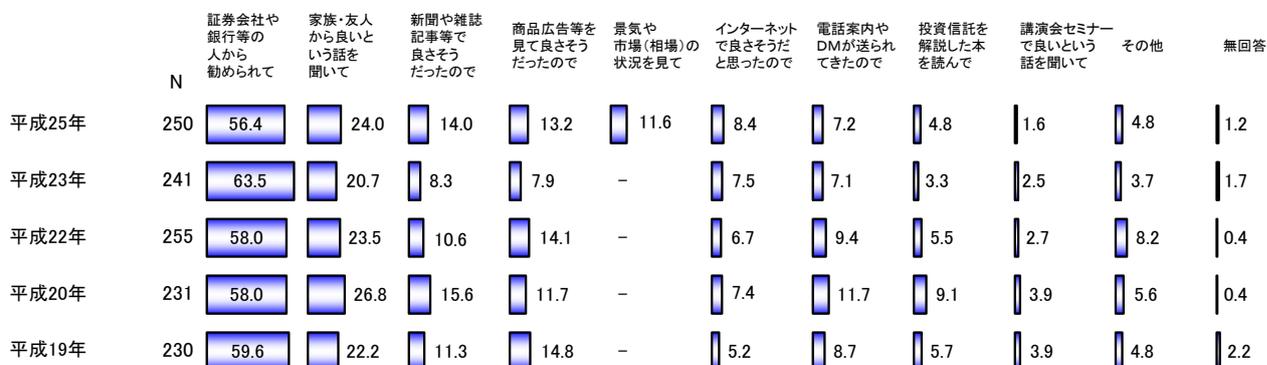
年代別では、60 代以上はそれ以下の年代に比べ「証券会社や銀行等の人から勧められて」が高いが、「インターネットで良さそうだったのだ」は低い。40 代はそれ以上の年代に比べて「新聞や雑誌記事等で良さそうだったのだ」は高めだが、「家族・友人から良いという話を聞いて」はやや低い。

年収別では、「500 万円未満」の各層に比べ「～800 万円未満」の層では「証券会社や銀行等の人から勧められて」が低めであり、「家族・友人から良いという話を聞いて」が高い。

地域別では、阪神圏は首都圏に比べ「証券会社や銀行等の人から勧められて」が高く、「家族・友人から良いという話を聞いて」や「インターネットで良さそうだったのだ」がやや低い。

投資信託保有状況別でみると、現在保有層は保有経験層に比べ「商品広告等を見て良さそうだったのだ」は低く、「新聞や雑誌記事等で良さそうだったのだ」もやや低いが、「インターネットで良さそうだったのだ」はやや高い。

問 8 【投資信託購入のきっかけ(重複回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】



※ 平成 25 年調査より「景気や市場(相場)の状況を見て」を追加。

問 8 【投資信託購入のきっかけ(重複回答)／対象者属性別ー現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	証券会社や銀行等の人から勧められて	家族・友人から良いという話を聞いて	新聞や雑誌記事等で良さそうだったので	商品広告等を見て良さそうだったので	景気や市場(相場)の状況を見て	インターネットで良さそうだと思ったので	電話案内やDMが送られてきたので	投資信託を解説した本を読んで	講演会セミナーで良いという話を聞いて	その他	無回答
全体	250	56.4	24.0	14.0	13.2	11.6	8.4	7.2	4.8	1.6	4.8	1.2
性別												
男性	131	50.4	22.1	16.8	13.0	16.8	11.5	6.9	6.9	0.8	5.3	1.5
女性	119	63.0	26.1	10.9	13.4	5.9	5.0	7.6	2.5	2.5	4.2	0.8
年代別												
20代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
30代	16	18.8	62.5	6.3	6.3	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	12.5	6.3
40代	34	47.1	11.8	26.5	11.8	20.6	20.6	2.9	8.8	5.9	5.9	0.0
50代	63	52.4	20.6	15.9	17.5	11.1	14.3	11.1	3.2	0.0	6.3	1.6
60代	76	65.8	27.6	7.9	9.2	11.8	1.3	6.6	2.6	1.3	0.0	1.3
70歳以上	59	66.1	20.3	15.3	16.9	6.8	1.7	8.5	5.1	1.7	5.1	0.0
年収別												
100万円未満	49	67.3	26.5	4.1	12.2	4.1	6.1	10.2	2.0	2.0	6.1	0.0
~300万円未満	71	54.9	21.1	18.3	18.3	8.5	1.4	5.6	4.2	1.4	4.2	0.0
~500万円未満	49	61.2	20.4	16.3	8.2	10.2	6.1	6.1	6.1	2.0	0.0	2.0
~800万円未満	39	48.7	38.5	17.9	7.7	12.8	15.4	5.1	10.3	0.0	5.1	0.0
~1000万円未満	22	40.9	4.5	18.2	18.2	22.7	18.2	13.6	4.5	4.5	13.6	9.1
1000万円以上	12	58.3	25.0	8.3	16.7	16.7	16.7	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0
地域別												
首都圏	143	51.0	27.3	16.1	13.3	12.6	11.9	7.0	4.9	2.1	5.6	2.1
阪神圏	107	63.6	19.6	11.2	13.1	10.3	3.7	7.5	4.7	0.9	3.7	0.0

問 8 【投資信託購入のきっかけ(重複回答)／保有状況・保有種類別

ー現在保有層・保有経験層ベース】

注)投資信託保有種類別については回答結果をもとに以下のグループに分類した。

- ①『株式投資信託保有層』=株式投資信託保有者
- ②『公社債投資信託のみ保有層』=「公社債投資信託」のみ保有者(①は除く)
- ③『その他投資信託保有層』=①と②を除く投資信託保有者

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	証券会社や銀行等の人から勧められて	家族・友人から良いという話を聞いて	新聞や雑誌記事等で良さそうだったので	商品広告等を見て良さそうだったので	景気や市場(相場)の状況を見て	インターネットで良さそうだと思ったので	電話案内やDMが送られてきたので	投資信託を解説した本を読んで	講演会セミナーで良いという話を聞いて	その他	無回答
全体	250	56.4	24.0	14.0	13.2	11.6	8.4	7.2	4.8	1.6	4.8	1.2
保有状況別												
現在保有層	125	59.2	21.6	10.4	8.0	12.0	12.0	9.6	3.2	0.8	8.0	2.4
保有経験層	125	53.6	26.4	17.6	18.4	11.2	4.8	4.8	6.4	2.4	1.6	0.0
保有種類別												
株式投資信託保有層	81	61.7	25.9	11.1	9.9	14.8	14.8	8.6	2.5	1.2	3.7	0.0
公社債投資信託のみ保有層	11	36.4	27.3	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	36.4	0.0
その他投資信託保有層	27	66.7	11.1	7.4	7.4	3.7	7.4	18.5	3.7	0.0	11.1	0.0

(2) 投資信託の購入先

投資信託の購入先としては、「証券会社の店頭（電話注文を含む）」(46.8%)、「銀行の店頭（電話注文を含む）」(38.8%)の順に高く、他の項目を大きく引き離している。「証券会社のインターネット取引」(10.0%)は「投資信託会社（直販）」(7.6%)とほぼ同水準である。

対象者属性別にみると、性別では、男性は女性に比べ「銀行の店頭（電話注文を含む）」がやや低い、「証券会社のインターネット取引」「銀行のインターネット取引」ともやや高い。

年代別では、40代はそれ以上の年代に比べ「証券会社の店頭（電話注文を含む）」が低い。40～50代は「証券会社のインターネット取引」が10%を超えており、60代以上よりやや高い。

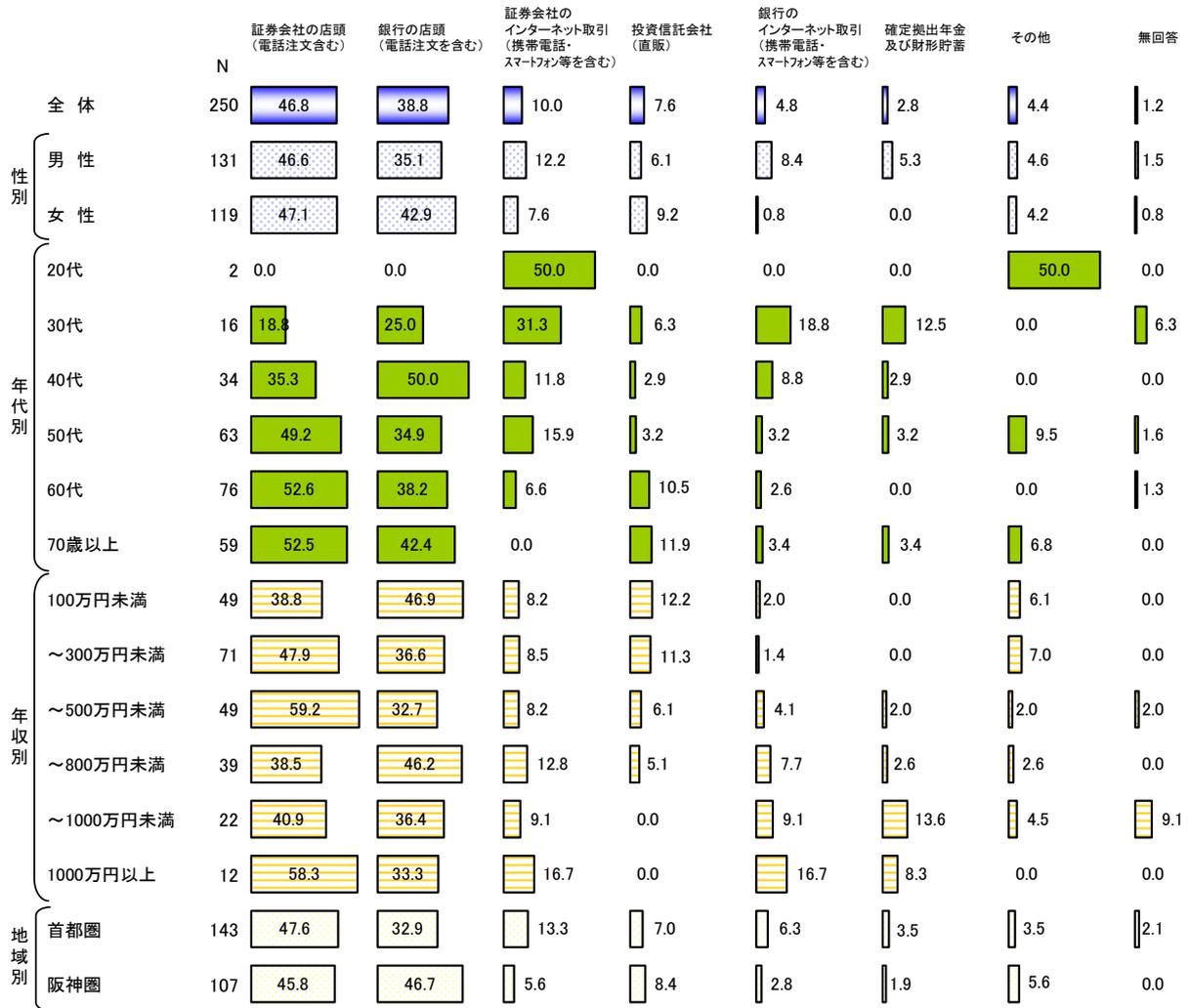
年収別では、「100万円未満」と「～800万円未満」の層は「銀行の店頭（電話注文を含む）」が「証券会社の店頭（電話注文を含む）」を上回っている。

地域別では、阪神圏は首都圏に比べ「銀行の店頭（電話注文を含む）」が高く、「証券会社のインターネット取引」がやや低い。

投資信託保有状況別でみると、現在保有層は保有経験層に比べ「銀行の店頭（電話注文を含む）」が高く、「証券会社のインターネット取引」もやや高いが、「証券会社の店頭（電話注文を含む）」や「投資信託会社（直販）」はやや低い。

問9【投資信託の購入先(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

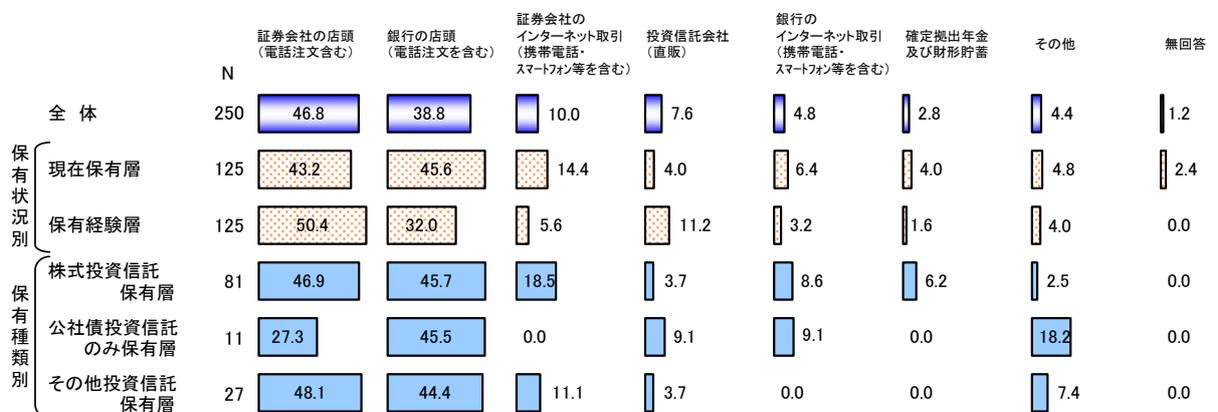
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問9【投資信託の購入先(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



(3) 販売員の説明・勧誘方法

①販売員の説明・勧誘方法への満足状況

投資信託を購入した際の販売員の説明や勧誘の仕方等に「とても満足した」は3.2%、「まあ満足した」は42.4%であり、これらを合わせた“満足層”は45.6%と半数近くを占める。

一方、「あまり満足しなかった」(7.6%)と「まったく満足しなかった」(0.4%)を合わせた“不満層”は8.0%にとどまる。「とても満足した」から「まったく満足しなかった」まで、5点から1点の得点を与えて平均値を算出したところ、3.4点となった。

時系列でみると、“満足層”比率は平成20年(55.0%)から平成22年(39.2%)に大きく低下したが、それ以降上昇傾向がみられ、回復しつつある。

対象者属性別にみると、性別では“満足層”比率に大きな差はみられないが、男性は女性に比べ「販売員と接触していない」がやや高い。これは男性の方がインターネット取引での購入率がやや高いことが影響しているとみられる。

年代別では、“満足層”比率は70歳以上で約60%と高いが、年代が下がるに従って低下し、50代では40%を下回る。ただし、40代では約50%と高い。

年収別では、“満足層”比率に大きな差はみられないが、“不満層”比率は「～500万円未満」の層が最も高い。

地域別では、“満足層”比率に大きな差はみられないが、「販売員と接触していない」は首都圏の方が阪神圏よりやや高い。

投資信託保有状況別にみると、“満足層”比率に大きな差はみられないが、「販売員と接触していない」は現在保有層の方が保有経験層よりやや高い。

投資信託保有種類別にみると、その他投資信託保有層は“満足層”比率が株式投資信託保有層よりも高い。

問10【販売員の説明・勧誘方法への満足状況(単数回答)／時系列

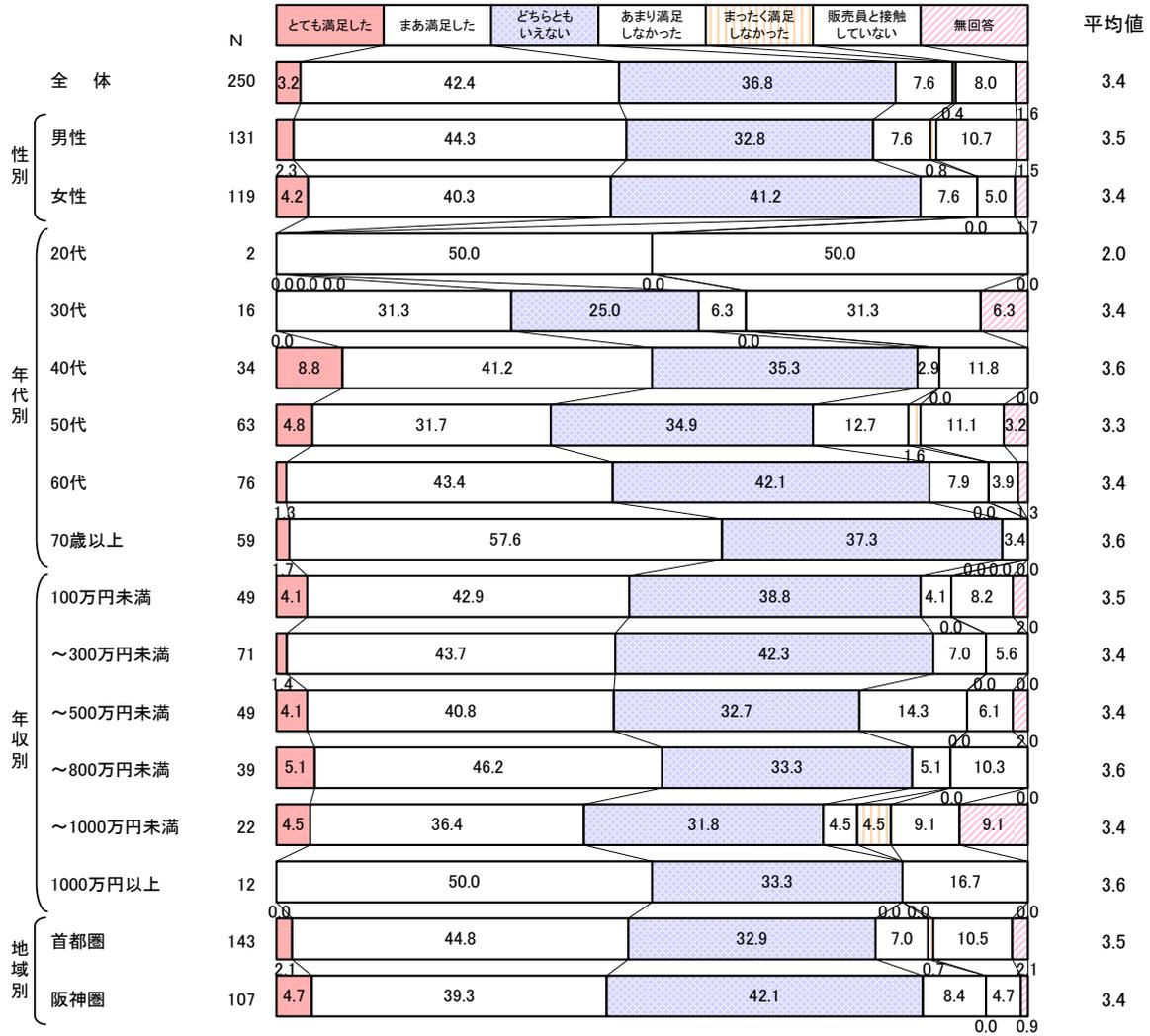
－現在保有層・保有経験層ベース】

	N	とても満足した	まあ満足した	どちらとも いえない	あまり満足 しなかった	まったく満足 しなかった	販売員と接触 していない	無回答	平均値
平成25年	250	3.2	42.4		36.8		7.6	8.0	3.4
平成23年	241	3.7	38.2		39.0		10.8	5.4	3.3
平成22年	255	3.5	35.7		42.0		8.2	4.3 5.5	3.3
平成20年	231	3.9	51.1		33.8		6.5	2.6	3.5
平成19年	230	5.2	43.9		36.1		4.8	4.3	3.5

問 10 【販売員の説明・勧誘方法への満足状況(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース】

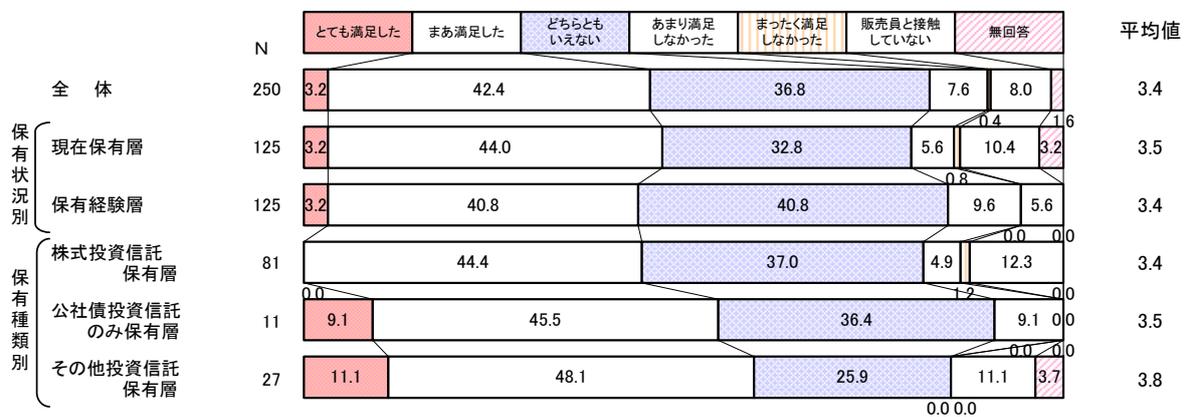
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 10 【販売員の説明・勧誘方法への満足状況(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



②販売員の説明・勧誘方法への満足理由(現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者)

現在保有層・保有経験層のうち、販売員の説明・勧誘方法に“満足”した人に満足した理由を尋ねたところ、「商品のリスクもきちんと説明した」(64.0%)が最も高い。次いで「商品の魅力をわかりやすく説明した」(47.4%)が高く、「自分のニーズにあった商品を勧めた」(29.8%)と「質問にきちんと答えてくれた」(24.6%)がほぼ同率で続く。

時系列でみると、大きな変化がみられる項目はない。

対象者属性別にみると、性別では、男性は女性に比べ「質問にきちんと答えてくれた」が高いが、女性では「商品の魅力をわかりやすく説明した」が高い。

地域別では、「質問にきちんと答えてくれた」が阪神圏で高い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は保有経験層に比べ「商品のリスクもきちんと説明した」が高い。

問 10-1 【販売員の説明・勧誘への満足理由(重複回答)】時系列

－現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者ベース

	N	商品のリスクも きちんと説明した	商品の魅力を わかりやすく説明した	自分のニーズに あった商品を 勧めてくれた	質問にきちんと 答えてくれた	その他	無回答
平成25年	114	64.0	47.4	29.8	24.6	0.9	1.8
平成23年	101	66.3	41.6	28.7	19.8	0.0	0.0
平成22年	100	50.0	49.0	30.0	23.0	1.0	0.0
平成20年	127	61.4	42.5	22.0	26.0	0.8	0.8
平成19年	113	63.7	58.4	23.0	20.4	0.9	0.0

問 10-1 【販売員の説明・勧誘への満足理由(重複回答)】対象者属性別

－現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者ベース

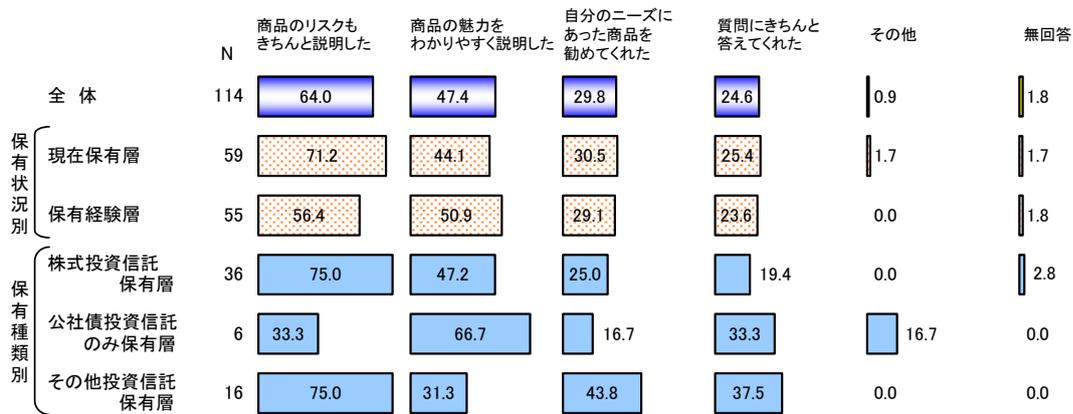
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

		全 体	商品のリスク もきちんと 説明した	商品の魅力を わかりやすく 説明した	自分のニーズ にあった商品 を勧めてくれた	質問に きちんと 答えてくれた	その他	無回答
全 体		114 100.0	73 64.0	54 47.4	34 29.8	28 24.6	1 0.9	2 1.8
性別	男性	61 100.0	40 65.6	24 39.3	19 31.1	20 32.8	1 1.6	-
	女性	53 100.0	33 62.3	30 56.6	15 28.3	8 15.1	-	2 3.8
年代別	20代	0 100.0	-	-	-	-	-	-
	30代	5 100.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	-	-
	40代	17 100.0	11 64.7	7 41.2	5 29.4	3 17.6	1 5.9	-
	50代	23 100.0	16 69.6	8 34.8	8 34.8	5 21.7	-	-
	60代	34 100.0	20 58.8	16 47.1	11 32.4	7 20.6	-	2 5.9
	70歳以上	35 100.0	23 65.7	21 60.0	8 22.9	11 31.4	-	-
	年 取 別	100万円未満	23 100.0	17 73.9	14 60.9	8 34.8	3 13.0	-
～300万円未満	32 100.0	19 59.4	18 56.3	6 18.8	5 15.6	-	2 6.3	
～500万円未満	22 100.0	12 54.5	8 36.4	10 45.5	8 36.4	-	-	
～800万円未満	20 100.0	12 60.0	7 35.0	9 45.0	6 30.0	-	-	
～1000万円未満	9 100.0	7 77.8	5 55.6	-	3 33.3	1 11.1	-	
1000万円以上	6 100.0	5 83.3	1 16.7	1 16.7	2 33.3	-	-	
地域別	首都圏	67 100.0	44 65.7	30 44.8	22 32.8	13 19.4	1 1.5	1 1.5
	阪神圏	47 100.0	29 61.7	24 51.1	12 25.5	15 31.9	-	1 2.1

問 10-1 【販売員の説明・勧誘への満足理由(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法満足者ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



③販売員の説明・勧誘方法への不満理由(現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法不満者)

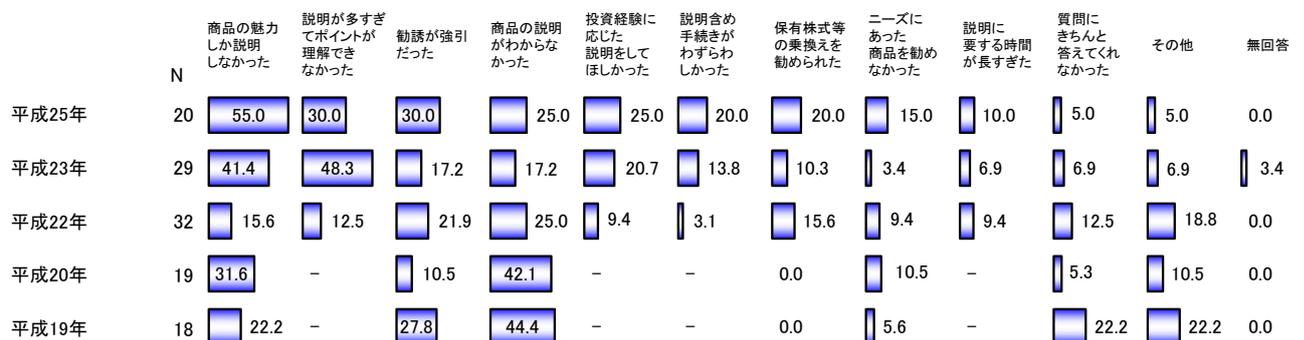
販売員の説明・勧誘方法に“不満”だった人に不満理由を尋ねた。N数(サンプル数)が少ないため参考値ではあるが、「商品の魅力しか説明しなかった」(55.0%)が最も高く、「説明が多すぎてポイントが理解できなかった」「勧誘が強引だった」(ともに30.0%)などが続く。

時系列でみると、「説明が多すぎてポイントが理解できなかった」は前回より低下した。

問 10-2 【販売員の説明・勧誘への不満理由(重複回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層のうち説明・勧誘方法不満者ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



※ 平成22年調査より「説明を受ける事項が多すぎて重要なポイントが理解できなかった」「説明に要する時間が長すぎた」「投資経験に応じた説明をしてほしかった」「説明を含めた手続きがわずらわしかった」を追加。

(4) 投資信託購入時の第三者への相談

投資信託の購入にあたっては「誰にも相談しなかった」が 58.4%と過半数を占めている。相談した場合の具体的な相手としては、「家族に相談した」が 32.8%で最も高い。「知人に相談した」は 6.4%、「FPに相談した」は 2.4%にとどまる。

対象者属性別にみると、性別では、男性は女性より「誰にも相談しなかった」比率が高い。女性は「家族に相談した」比率が男性より高い。

年代別では、大きな差はみられない。

年収別では、「誰にも相談しなかった」は「～500万円未満」の層が最も高い山型となっており、この層は「家族に相談した」比率が最も低い。

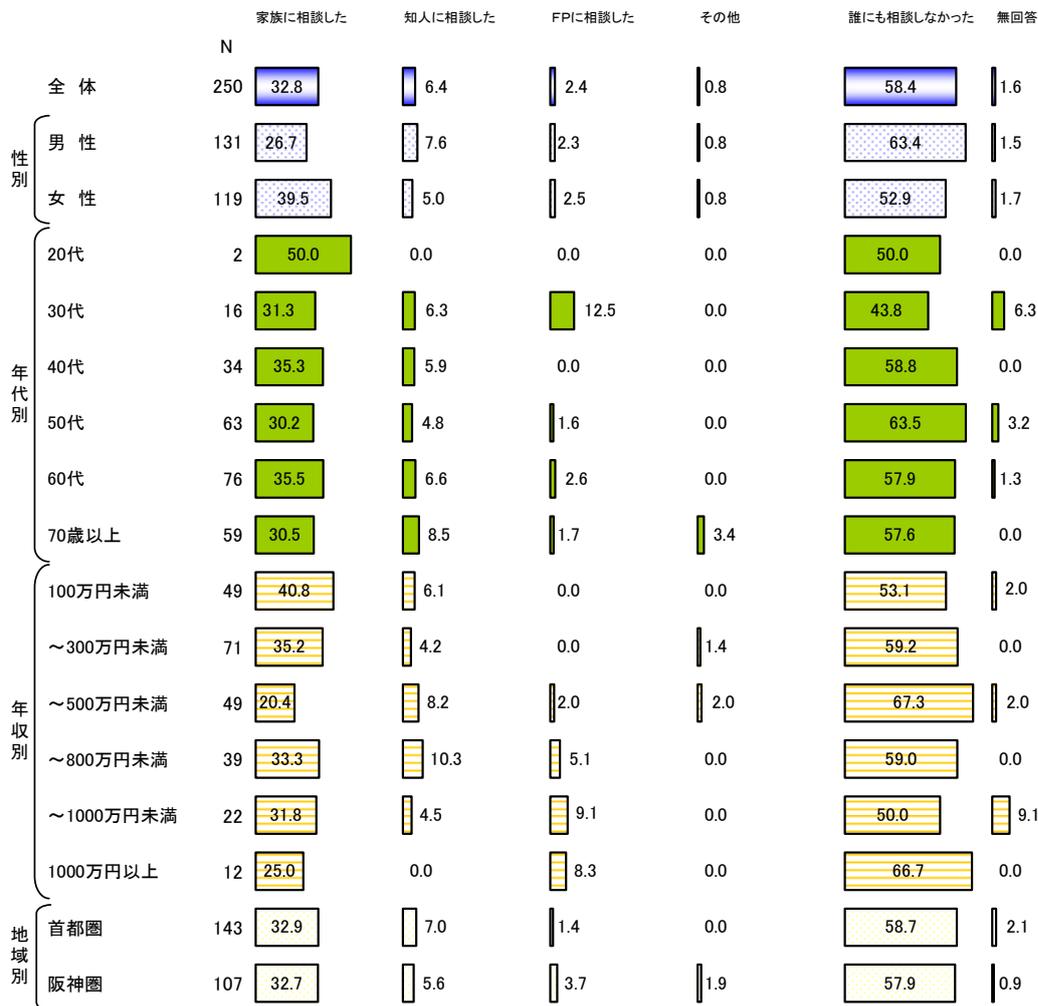
地域別では、大きな差はみられない。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は保有経験層に比べ「誰にも相談しなかった」比率がやや高く、「家族に相談した」や「知人に相談した」比率はやや低い。

問 11 【投資信託購入時の第三者への相談(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース】

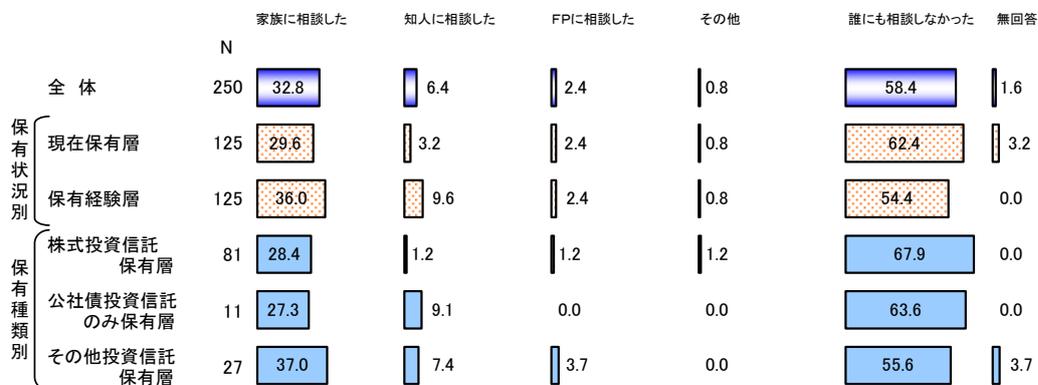
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 11 【投資信託購入時の第三者への相談(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



(5) 投資信託購入の際の重視点／今後の重視点

<購入の際重視した点>

「安全性の高さ」(49.6%)が最も高く、次いで「過去の運用実績」(36.8%)と「値上がり期待」(36.4%)がほぼ同率で並び、「過去の分配金額」(22.0%)が続く。

時系列でみると、「過去の運用実績」に上昇傾向がみられるのに対し、「値上がり期待」は下降傾向がみられる。「分配頻度の多さ」は前回より6.5ポイント低くなった。

対象者属性別でみると、性別では、女性は「安全性の高さ」が高く、他を大きく引き離しているが、男性では上位3項目の差が小さく、「過去の運用実績」「商品コンセプト」「純資産額の大きさ」も女性よりいずれも10ポイント以上上回っており、多様な点を重視している様子が見える。

年代別では、大きな差がある項目はみられない。

年収別でみると、「100万円未満」の層では「安全性の高さ」の重視度が他の層より高い。「～800万円未満」の層はそれ以下の層に比べ「過去の運用実績」「過去の分配金額」「商品内容のわかりやすさ」の重視度がやや高い。

地域別では、首都圏は阪神圏に比べ「商品内容のわかりやすさ」「商品コンセプト」「評価会社による評価」の重視度はやや高いが、「分配頻度の多さ」はやや低い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は保有経験層に比べ「商品コンセプト」や「純資産額の大きさ」の重視度は高いが、「安全性の高さ」「換金のしやすさ」は低い。

投資信託保有種類別にみると、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層と比べて「安全性の高さ」「過去の運用実績」「換金のしやすさ」の重視度は低いが、「値上がり期待」や「過去の分配金額」は高い。

<今後購入の際に重視したい点>

「安全性の高さ」が57.2%で特に高く、第2位は「値上がり期待」(36.8%)、第3位は「過去の運用実績」(28.4%)である。購入時の重視点と比べると、「安全性の高さ」が7.6ポイント高いのに対し、「過去の運用実績」は8.4ポイント、「過去の分配金額」は11.2ポイント低い。

時系列でみると、「安全性の高さ」は前回5.6ポイント上がったが、今回8.4ポイント下がった。「過去の運用実績」は購入の際重視した点と同様、ここでも上昇傾向がみられる。

対象者属性別にみると、性別では、男性は「商品コンセプト」「手数料や信託報酬の水準」が女性より高い。

年代別では、大きな差がある項目はみられない。

年収別でみると、「100万円未満」の層では「安全性の高さ」の重視度が他の層より高い。

地域別にみると、阪神圏では「値上がり期待」が首都圏より高いが、「換金のしやすさ」はやや低い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は第2位の「値上がり期待」が高く、第1位の「安全性の高さ」との差が8.0ポイントと小さい。また、「分配頻度の多さ」や「商品コンセプト」もやや高い。一方、保有経験層では「安全性の高さ」が特に高く、「換金のしやすさ」も現在保有層よりやや高い。

投資信託保有種類別にみると、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層と比べて「値上がり期待」が高く、「過去の運用実績」が低い。

問 12①【投資信託購入の際の重視点(重複回答)】／時系列—現在保有層・保有経験層ベース

	N	安全性の高さ	過去の運用実績	値上がり期待	過去の分配金額	換金のしやすさ	分配頻度の多さ	商品内容のわかりやすさ	商品コンセプト	純資産額の大きさ	手数料や信託報酬の水準	評価会社による評価	特に考えず勤めて	その他	無回答
平成25年	250	49.6	36.8	36.4	22.0	18.8	17.2	14.0	11.2	8.8	8.4	6.0	6.0	1.6	2.8
平成23年	241	54.4	34.0	40.7	25.7	12.4	23.7	12.9	10.0	5.0	5.4	6.2	3.7	0.4	1.7
平成22年	255	45.9	30.6	42.0	21.6	17.3	20.8	12.9	7.8	5.5	9.8	8.6	6.7	1.2	0.8

問 12①【投資信託購入の際の重視点(重複回答)】／対象者属性別

—現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。

	N	安全性の高さ	過去の運用実績	値上がり期待	過去の分配金額	換金のしやすさ	分配頻度の多さ	商品内容のわかりやすさ	商品コンセプト	純資産額の大きさ	手数料や信託報酬の水準	評価会社による評価	特に考えず勤めて	その他	無回答
全体	250	49.6	36.8	36.4	22.0	18.8	17.2	14.0	11.2	8.8	8.4	6.0	6.0	1.6	2.8
性別															
男性	131	45.8	42.0	38.9	21.4	19.8	16.0	16.8	17.6	13.7	8.4	6.1	3.1	0.8	3.1
女性	119	53.8	31.1	33.6	22.7	17.6	18.5	10.9	4.2	3.4	8.4	5.9	9.2	2.5	2.5
年代別															
20代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	16	68.8	31.3	31.3	25.0	18.8	6.3	18.8	18.8	6.3	6.3	6.3	0.0	6.3	6.3
40代	34	50.0	44.1	32.4	29.4	14.7	23.5	20.6	14.7	14.7	11.8	5.9	0.0	2.9	2.9
50代	63	44.4	41.3	36.5	14.3	17.5	17.5	15.9	12.7	4.8	12.7	1.6	9.5	0.0	1.6
60代	76	51.3	30.3	40.8	22.4	18.4	21.1	11.8	9.2	9.2	3.9	11.8	5.3	2.6	2.6
70歳以上	59	45.8	39.0	35.6	25.4	22.0	11.9	10.2	8.5	10.2	6.8	3.4	8.5	0.0	3.4
年収別															
100万円未満	49	63.3	30.6	32.7	16.3	18.4	18.4	8.2	4.1	2.0	8.2	6.1	10.2	4.1	0.0
～300万円未満	71	43.7	33.8	36.6	22.5	21.1	16.9	8.5	9.9	8.5	5.6	4.2	11.3	2.8	1.4
～500万円未満	49	51.0	34.7	40.8	20.4	20.4	12.2	16.3	14.3	8.2	4.1	8.2	2.0	0.0	6.1
～800万円未満	39	46.2	46.2	38.5	30.8	17.9	20.5	28.2	12.8	10.3	10.3	7.7	0.0	0.0	2.6
～1000万円未満	22	45.5	50.0	22.7	18.2	13.6	18.2	18.2	22.7	13.6	18.2	4.5	0.0	0.0	9.1
1000万円以上	12	33.3	41.7	50.0	8.3	16.7	16.7	8.3	16.7	25.0	16.7	0.0	8.3	0.0	0.0
地域別															
首都圏	143	49.0	37.8	34.3	23.1	19.6	14.7	16.8	14.0	8.4	8.4	8.4	4.9	1.4	4.9
阪神圏	107	50.5	35.5	39.3	20.6	17.8	20.6	10.3	7.5	9.3	8.4	2.8	7.5	1.9	0.0

問 12①【投資信託購入の際の重視点(重複回答)】／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。

	N	安全性の高さ	過去の運用実績	値上がり期待	過去の分配金額	換金のしやすさ	分配頻度の多さ	商品内容のわかりやすさ	商品コンセプト	純資産額の大きさ	手数料や信託報酬の水準	評価会社による評価	特に考えず勤めて	その他	無回答
全体	250	49.6	36.8	36.4	22.0	18.8	17.2	14.0	11.2	8.8	8.4	6.0	6.0	1.6	2.8
保有状況別															
現在保有層	125	45.6	35.2	36.0	24.0	12.0	19.2	12.0	15.2	13.6	8.8	6.4	2.4	3.2	4.0
保有経験層	125	53.6	38.4	36.8	20.0	25.6	15.2	16.0	7.2	4.0	8.0	5.6	9.6	0.0	1.6
保有種類別															
株式投資信託保有層	81	39.5	33.3	45.7	33.3	7.4	23.5	12.3	13.6	17.3	9.9	6.2	2.5	2.5	0.0
公社債投資信託のみ保有層	11	72.7	18.2	9.1	9.1	27.3	0.0	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0
その他投資信託保有層	27	55.6	51.9	25.9	3.7	22.2	18.5	7.4	22.2	11.1	11.1	11.1	0.0	7.4	3.7

問 12②【投資信託を今後購入する際、重視したい点(重複回答)／時系列

—現在保有層・保有経験層ベース

	N	安全性の高さ	値上がり期待	過去の運用実績	換金のしやすさ	分配頻度の多さ	商品内容のわかりやすさ	商品コンセプト	過去の分配金額	手数料や信託報酬の水準	評価会社による評価	純資産額の大きさ	特に考えず勤めて	その他	無回答
平成25年	250	57.2	36.8	28.4	15.2	14.0	13.2	12.4	10.8	10.4	8.0	6.0	1.2	5.2	6.0
平成23年	241	65.6	38.2	24.5	17.8	16.2	14.9	10.0	17.0	11.6	7.9	4.1	1.2	0.8	5.0
平成22年	255	60.0	40.4	20.4	18.8	12.2	16.5	6.7	12.9	16.1	8.2	5.9	2.0	2.4	3.5

問 12②【投資信託を今後購入する際、重視したい点(重複回答)／対象者属性別

—現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。

	N	安全性の高さ	値上がり期待	過去の運用実績	換金のしやすさ	分配頻度の多さ	商品内容のわかりやすさ	商品コンセプト	過去の分配金額	手数料や信託報酬の水準	評価会社による評価	純資産額の大きさ	特に考えず勤めて	その他	無回答	
全体	250	57.2	36.8	28.4	15.2	14.0	13.2	12.4	10.8	10.4	8.0	6.0	1.2	5.2	6.0	
性別	男性	131	55.7	36.6	29.0	16.8	12.2	13.0	19.8	10.7	15.3	10.7	7.6	0.0	6.1	5.3
	女性	119	58.8	37.0	27.7	13.4	16.0	13.4	4.2	10.9	5.0	5.0	4.2	2.5	4.2	6.7
年代別	20代	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30代	16	62.5	37.5	31.3	25.0	12.5	12.5	18.8	12.5	0.0	6.3	12.5	0.0	0.0	12.5
	40代	34	58.8	38.2	29.4	2.9	17.6	11.8	11.8	8.8	11.8	8.8	14.7	0.0	5.9	5.9
	50代	63	57.1	42.9	31.7	19.0	14.3	14.3	12.7	6.3	11.1	7.9	4.8	3.2	6.3	3.2
	60代	76	61.8	35.5	22.4	17.1	14.5	15.8	9.2	11.8	11.8	9.2	1.3	1.3	3.9	6.6
	70歳以上	59	49.2	32.2	30.5	13.6	11.9	8.5	13.6	15.3	10.2	5.1	6.8	0.0	6.8	6.8
年収別	100万円未満	49	69.4	40.8	28.6	16.3	20.4	6.1	4.1	6.1	4.1	10.2	2.0	2.0	8.2	0.0
	～300万円未満	71	52.1	31.0	25.4	15.5	14.1	15.5	15.5	11.3	11.3	5.6	4.2	2.8	8.5	5.6
	～500万円未満	49	55.1	30.6	24.5	16.3	14.3	10.2	10.2	14.3	4.1	8.2	8.2	0.0	2.0	12.2
	～800万円未満	39	61.5	41.0	35.9	20.5	12.8	15.4	10.3	17.9	10.3	7.7	10.3	0.0	5.1	5.1
	～1000万円未満	22	54.5	36.4	36.4	9.1	9.1	22.7	18.2	0.0	31.8	9.1	0.0	0.0	0.0	9.1
	1000万円以上	12	25.0	58.3	25.0	0.0	8.3	8.3	33.3	8.3	25.0	8.3	16.7	0.0	0.0	8.3
地域別	首都圏	143	55.9	31.5	26.6	18.2	14.0	14.0	13.3	11.2	7.7	6.3	0.7	5.6	8.4	
	阪神圏	107	58.9	43.9	30.8	11.2	14.0	12.1	10.3	7.5	9.3	5.6	1.9	4.7	2.8	

問 12②【投資信託を今後購入する際、重視したい点(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。

	N	安全性の高さ	値上がり期待	過去の運用実績	換金のしやすさ	分配頻度の多さ	商品内容のわかりやすさ	商品コンセプト	過去の分配金額	手数料や信託報酬の水準	評価会社による評価	純資産額の大きさ	特に考えず勤めて	その他	無回答	
全体	250	57.2	36.8	28.4	15.2	14.0	13.2	12.4	10.8	10.4	8.0	6.0	1.2	5.2	6.0	
保有状況別	現在保有層	125	52.0	44.0	26.4	12.0	16.8	12.0	16.8	10.4	10.4	7.2	7.2	0.8	3.2	4.8
	保有経験層	125	62.4	29.6	30.4	18.4	11.2	14.4	8.0	11.2	10.4	8.8	4.8	1.6	7.2	7.2
保有種類別	株式投資信託保有層	81	54.3	55.6	23.5	8.6	19.8	11.1	13.6	12.3	12.3	7.4	7.4	1.2	2.5	1.2
	公社債投資信託のみ保有層	11	45.5	0.0	27.3	18.2	9.1	36.4	18.2	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1
	その他投資信託保有層	27	55.6	37.0	37.0	18.5	14.8	7.4	25.9	3.7	3.7	7.4	11.1	0.0	3.7	0.0

(6) 投資信託の購入資金

投資信託の購入資金は、「定期性の預貯金等から」が 40.8%で特に高く、次いで「月々の収入から」(27.6%)が続く。他にも「退職金・相続等の臨時収入から」(16.8%)と「ボーナスから」(14.4%)が続き、「株式・債券等を買ったお金」「生保・損保の満期・解約金から」も10%弱みられる。

時系列でみると、「定期性の預貯金等から」は平成20年以降下降傾向だったが、今回は前回並に止まっている。

対象者属性別にみると、性別では、男性は女性に比べ「月々の収入から」や「ボーナスから」が高い。

年代別では、40～50代は60代以上に比べ「定期性の預貯金等から」が低く、「ボーナスから」が高い。50代は「月々の収入から」が他の層より高く、この層のトップとなっている。「退職金・相続等の臨時収入から」は年代が高いほど高い傾向がみられる。

年収別では、大きな差はみられないが、「～300万円未満」の層では「月々の収入から」が他の層よりやや低い。

地域別では、首都圏は阪神圏に比べ「月々の収入から」や「株式・債券等を買ったお金」がやや高いが、「定期性の預貯金等から」はやや低い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は「退職金・相続等の臨時収入から」が保有経験層より高く、「月々の収入から」とほぼ同率の20%台で並ぶ。また、「他の投資信託を買ったお金」も保有経験層より高く、「ボーナスから」等とほぼ同レベルの10%台で並んでいる。保有経験層では「月々の収入から」が現在保有層に比べて高く、一方で「退職金・相続等の臨時収入から」が低くなっており、「ボーナスから」がこれを上回る。

問7【投資信託の購入資金(重複回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】

	N	定期性の 預貯金等から	月々の 収入から	退職金・ 相続等の 臨時収入から	ボーナスから	株式・ 債券等 を買った お金	生保・損保の 満期・ 解約金から	他の 投資信託を 買ったお金	その他	無回答
平成25年	250	40.8	27.6	16.8	14.4	9.2	8.0	6.0	2.8	1.2
平成23年	241	39.8	29.5	12.9	13.7	10.8	6.2	7.5	3.3	1.7
平成22年	255	44.3	30.2	12.5	13.7	7.1	4.3	7.8	3.9	0.8
平成20年	231	52.8	25.5	15.6	10.0	10.0	9.5	5.2	3.9	0.0
平成19年	230	45.2	27.8	15.7	13.5	12.6	8.3	6.1	1.7	2.2

問7【投資信託の購入資金(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。

	N	定期性の 預貯金等から	月々の 収入から	退職金・ 相続等の 臨時収入から	ボーナスから	株式・ 債券等を 売ったお金	生保・損保の 満期・ 解約金から	他の 投資信託を 売ったお金	その他	無回答
全体	250	40.8	27.6	16.8	14.4	9.2	8.0	6.0	2.8	1.2
性別										
男性	131	41.2	32.8	14.5	17.6	9.9	7.6	4.6	2.3	1.5
女性	119	40.3	21.8	19.3	10.9	8.4	8.4	7.6	3.4	0.8
年代別										
20代	2	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	16	31.3	37.5	0.0	25.0	0.0	6.3	0.0	6.3	6.3
40代	34	38.2	23.5	2.9	26.5	8.8	8.8	14.7	2.9	0.0
50代	63	30.2	36.5	14.3	25.4	7.9	4.8	1.6	3.2	1.6
60代	76	51.3	22.4	21.1	5.3	10.5	6.6	7.9	1.3	1.3
70歳以上	59	44.1	22.0	27.1	5.1	11.9	13.6	5.1	3.4	0.0
年収別										
100万円未満	49	42.9	30.6	14.3	12.2	4.1	8.2	6.1	4.1	0.0
～300万円未満	71	42.3	18.3	19.7	12.7	8.5	9.9	5.6	1.4	0.0
～500万円未満	49	36.7	30.6	18.4	12.2	10.2	10.2	6.1	2.0	2.0
～800万円未満	39	38.5	35.9	12.8	17.9	12.8	5.1	2.6	2.6	0.0
～1000万円未満	22	36.4	36.4	13.6	9.1	13.6	4.5	9.1	9.1	9.1
1000万円以上	12	41.7	16.7	16.7	41.7	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0
地域別										
首都圏	143	38.5	30.1	17.5	16.1	11.2	9.1	7.0	2.1	2.1
阪神圏	107	43.9	24.3	15.9	12.1	6.5	6.5	4.7	3.7	0.0

問7【投資信託の購入資金(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。

	N	定期性の 預貯金等から	月々の 収入から	退職金・ 相続等の 臨時収入から	ボーナスから	株式・ 債券等を 売ったお金	生保・損保の 満期・ 解約金から	他の 投資信託を 売ったお金	その他	無回答
全体	250	40.8	27.6	16.8	14.4	9.2	8.0	6.0	2.8	1.2
保有状況別										
現在保有層	125	40.0	24.0	21.6	12.0	11.2	8.8	10.4	4.0	2.4
保有経験層	125	41.6	31.2	12.0	16.8	7.2	7.2	1.6	1.6	0.0
保有種類別										
株式投資信託 保有層	81	40.7	21.0	25.9	13.6	11.1	11.1	12.3	3.7	0.0
公社債投資信託 のみ保有層	11	36.4	36.4	18.2	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	0.0
その他投資信託 保有層	27	40.7	33.3	14.8	11.1	7.4	3.7	11.1	3.7	0.0

(7) 投資信託の購入目的

投資信託を購入した目的は、「老後の生活資金」(29.2%)が最も高く、次いで「資産のリスク分散」(22.4%)が高いが、他の目的はいずれも10%未満と低い。なお、「特に目的はないが資金を増やしたいため」も36.4%と高い。

時系列で見ると、大きな変化はみられないものの、「住宅資金」が前回より4.7ポイントとわずかながら高くなっている。

対象者属性別にみると、性別では、男性は「老後の生活資金」と「資産のリスク分散」が高いが、女性は「特に目的はないが資金を増やしたいため」が高い。

年代別では、「老後の生活資金」は年代が上がるにつれて高くなる傾向がみられ、「特に目的はないが資金を増やしたいため」は70歳以上で特に低い。

年収別では、「特に目的はないが資金を増やしたいため」は「100万円未満」の層で特に高く、この層では他の理由が低めである。

地域別では、大きな差はみられない。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は保有経験層に比べて「特に目的はないが資金を増やしたいため」が低く、「老後の生活資金」や「資産のリスク分散」等具体的な目的を持って購入した比率が高い。ただし、「住宅資金」や「経済の勉強のため」は保有経験層の方がやや高い。

投資信託保有種類別にみると、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層と比べて「資産のリスク分散」が高く、「特に目的はないが資金を増やしたいため」はやや低い。

問6【投資信託の購入目的(重複回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】

	N	老後の生活資金	資産のリスク分散	住宅資金	子供または孫のための教育資金等	経済の勉強のため	レジャー資金	結婚資金	耐久消費財の購入資金	独立自営のための資金	特に目的はないが資金を増やしたいため	その他	無回答
平成25年	250	29.2	22.4	8.4	6.8	6.8	6.4	2.8	2.4	2.0	36.4	4.8	1.2
平成23年	241	32.0	24.9	3.7	7.5	8.3	3.3	1.7	2.1	2.5	34.9	4.1	1.2
平成22年	255	31.8	21.2	4.7	5.5	9.0	6.7	2.0	1.6	0.4	38.8	6.3	0.4
平成20年	231	34.6	28.1	3.0	6.5	10.8	4.8	0.0	3.5	1.7	35.5	6.9	0.0
平成19年	230	32.2	23.0	5.7	7.0	10.9	4.8	1.7	3.9	0.4	34.3	4.3	2.2

問6【投資信託の購入目的(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

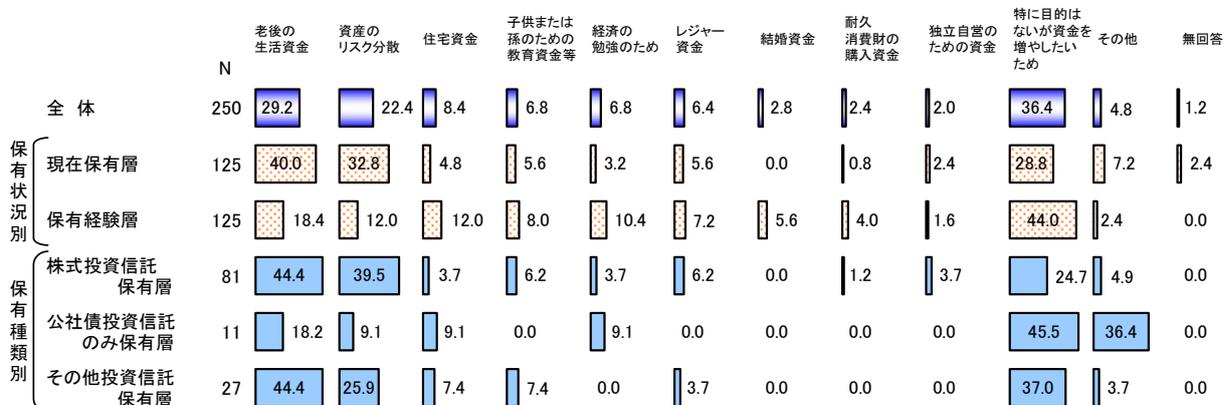
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問6【投資信託の購入目的(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



(8) 投資信託の運用実績評価

投資信託の運用実績評価を尋ねると、「期待した以上だった」は2.4%、「期待通りの実績だった」は16.8%であり、これらを合わせた“期待以上”は19.2%である。一方、「期待していたよりもやや悪かった」は24.4%、「全く期待はずれだった」は24.0%であり、これらを合わせた“期待以下”は48.4%とほぼ半数を占め、“期待以上”を大きく上回っている。また、「なんともいえない」と評価を保留した人も30.4%みられる。「期待した以上だった」から「全く期待はずれだった」に、4点から1点の得点を与えて平均値を算出したところ、2.0点となった。

時系列でみると、今回は前回に比べ“期待以下”が10.5ポイント低下し、“期待以上”も平成22年以降上昇傾向がみられ、相対的に評価が上がっている。

対象者属性別でみると、性別では、男性は女性に比べ相対的に評価が高い。

年代別にみると、40代は“期待以上”が約40%と特に高い。70歳以上では“期待以下”の比率がやや高く、相対的に評価は低めである。

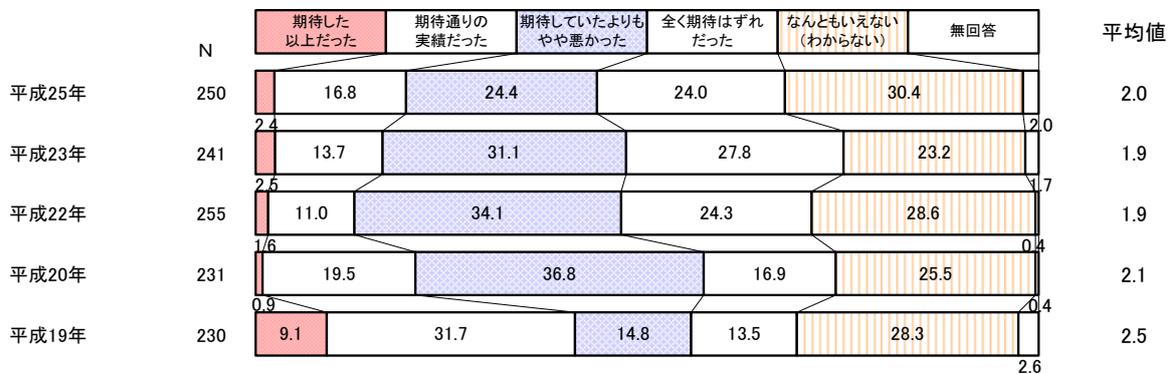
年収別では、「～300万円未満」の層は“期待以下”が60%台を占めており、評価が低い。

地域別では、首都圏は阪神圏に比べ“期待以下”が低く、相対的に評価が高い。

投資信託保有状況別でみると、現在保有層と保有経験層では大きな差はみられない。

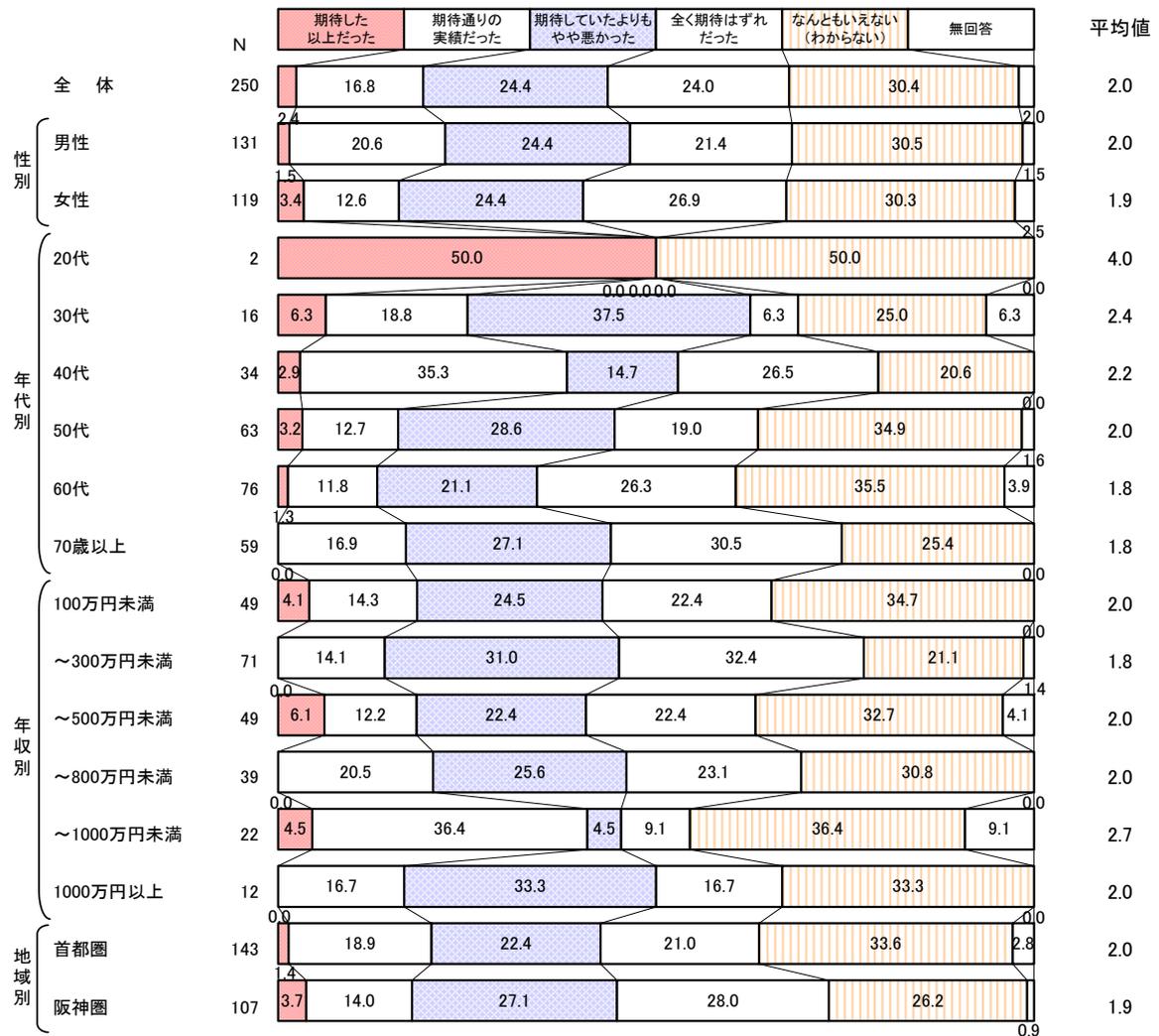
投資信託保有種類別にみると、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層よりも「期待していたよりもやや悪かった」が低く、「全く期待はずれだった」が高い。

問16【投資信託の運用実績評価(単数回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】



問 16【投資信託の運用実績評価(単数回答)／対象者属性別ー現在保有層・保有経験層ベース】

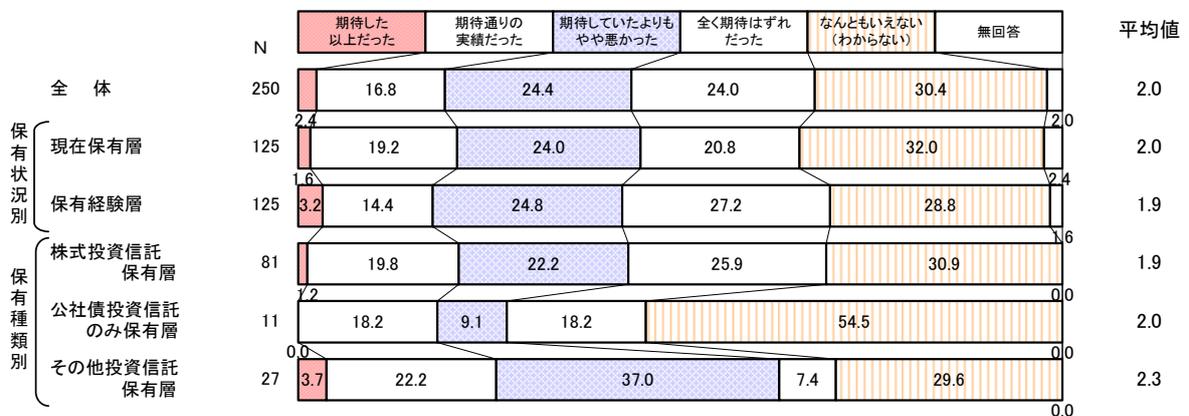
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 16【投資信託の運用実績評価(単数回答)／保有状況・保有種類別

ー現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



(9) 償還・売却資金の流出先

投資信託の償還あるいは売却した資金の流出先は、「預貯金にまわした」が 39.6%で最も高い。次いで「生活資金にまわした」(26.0%)、「他の投資信託を購入した」(18.8%)、「株式・債券を購入した」(12.8%)、「金融商品以外の商品の購入にあてた」(5.6%)の順となっている。「売却・償還したことはない」も 10.4%みられる。

時系列でみると、「生活資金にまわした」は前回 7.2ポイント低下したが、今回は 7.3ポイント上昇し、前々回レベルに戻った。

対象者属性別にみると、性別では、女性は男性より「預貯金にまわした」が高い。一方、男性は「生活資金にまわした」が女性より高く、「預貯金にまわした」とほぼ同率となっている。また男性では「株式・債券を購入した」「売却・償還したことはない」も高い。

年代別では、「生活資金にまわした」は 40代で最も高い。「株式・債券等を購入した」は 50代が最も低く、年代が上がるにつれやや高くなる。「売却・償還したことはない」は 50代を中心とした層でやや高いが、70歳以上では低い。

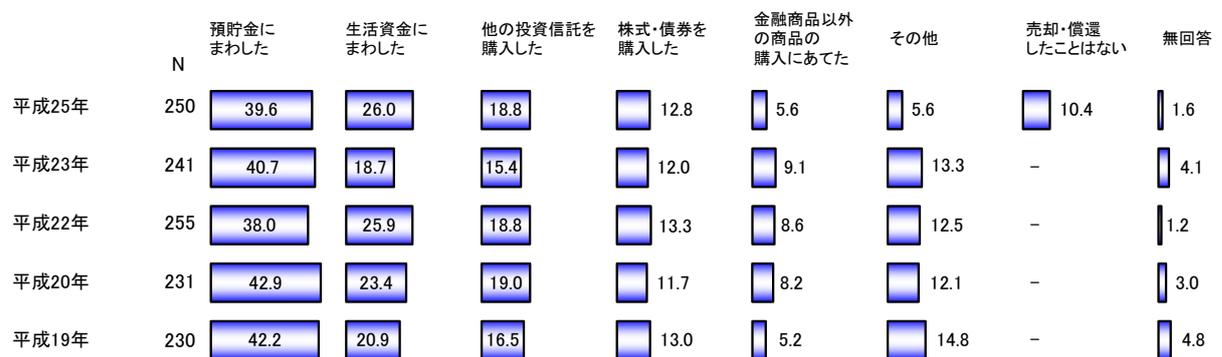
年収別では、「預貯金にまわした」率は「300万円未満」の低年収層で高いが、「～500万円未満」の層では低い。「～500万円未満」の層は低年収層より「生活資金にまわした」が高めである。

地域別では、首都圏は阪神圏に比べ「株式・債券を購入した」は高いが、「預貯金にまわした」は低い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は「他の投資信託を購入した」が「預貯金にまわした」とほぼ同率と高く、「売却・償還したことはない」がこれらに続く。一方、保有経験層は「預貯金にまわした」と「生活資金にまわした」が現在保有層に比べて高く、「他の投資信託を購入した」率はごくわずかに過ぎない。

投資信託保有種類別にみると、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層と比べて、「生活資金にまわした」が低い。

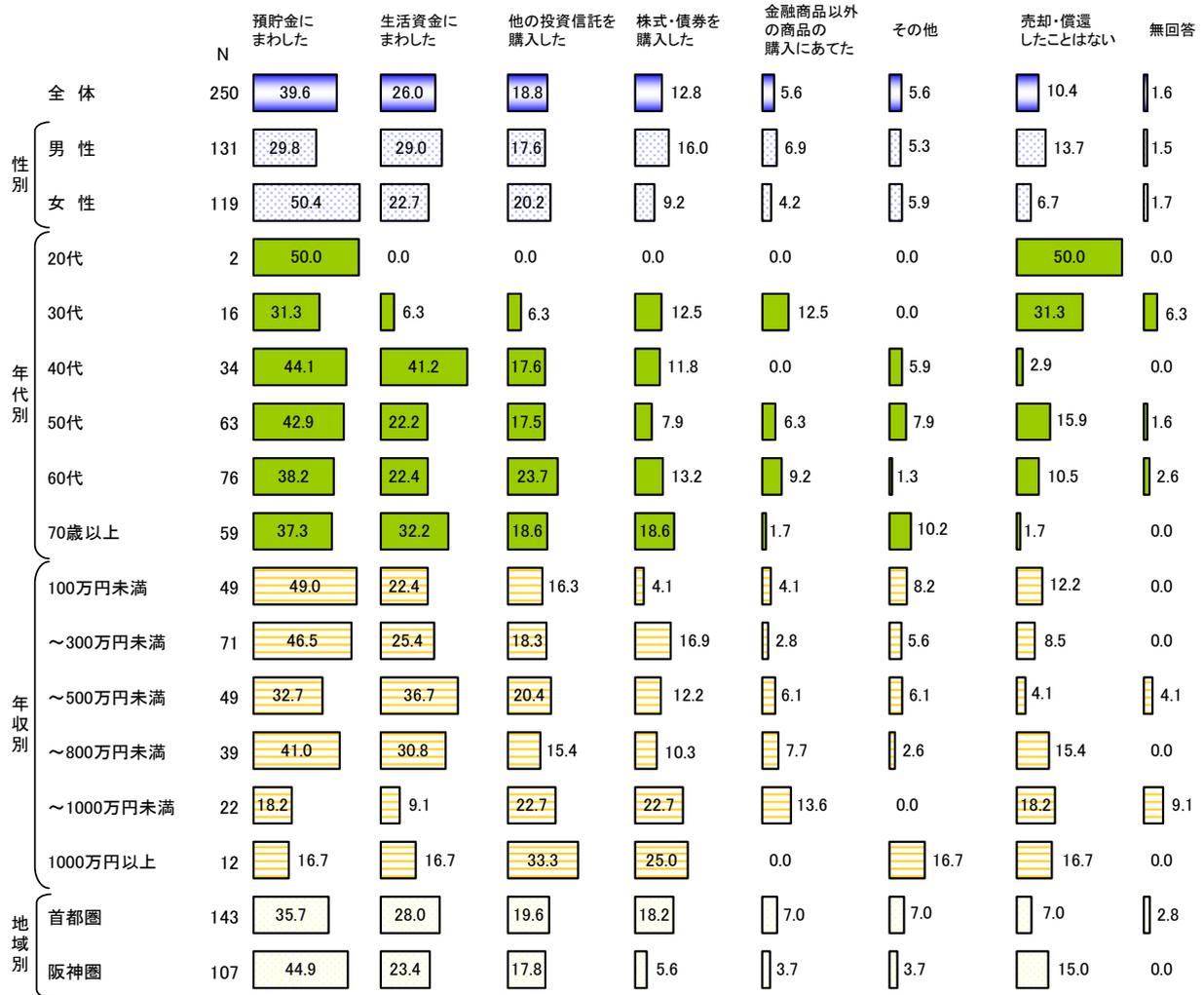
問 17【償還・売却資金の流出先(重複回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】



※ 平成 25 年調査より「売却・償還したことはない」を追加。

問 17 【償還・売却資金の流出先(重複回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

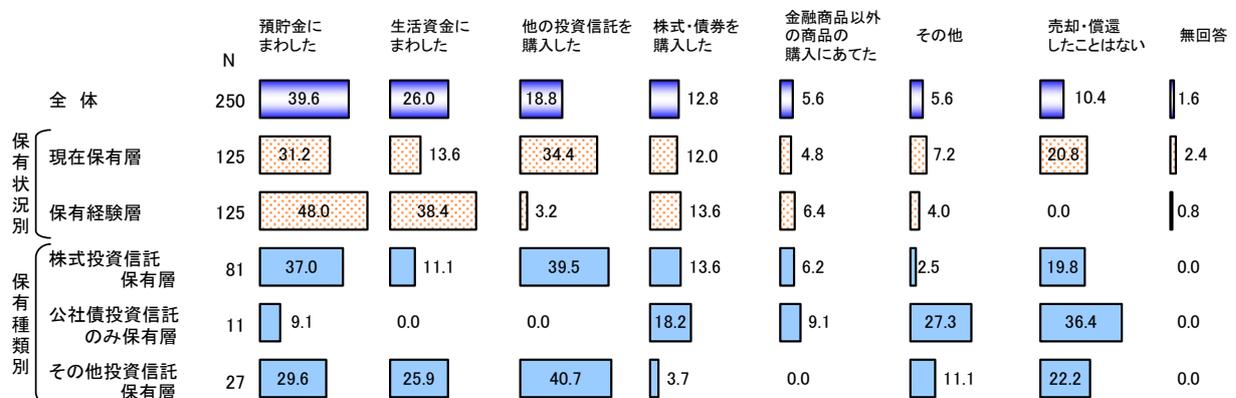
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 17 【償還・売却資金の流出先(重複回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



(10) 分配金の特徴認知状況

投資信託の『分配金』の特徴の認知率は、「運用成績によって変動する」が最も高く、84.8%と大半の人が知っている。「成績不良時には支払われない場合がある」(67.2%)や「決算ごとに支払われる」(50.0%)も半数以上が認知している。一方、「支払われた額だけ基準価額が下がる」は29.6%であり、他の項目に比べ知られていない。

時系列でみると、「成績不良時には支払われない場合がある」は認知率が毎回上昇している。「支払われた額だけ基準価額が下がる」も前回より12.2ポイント上昇した。

対象者属性別でみると、性別では、男性は「運用成績によって変動する」「決算ごとに支払われる」の認知率が女性よりやや高い。

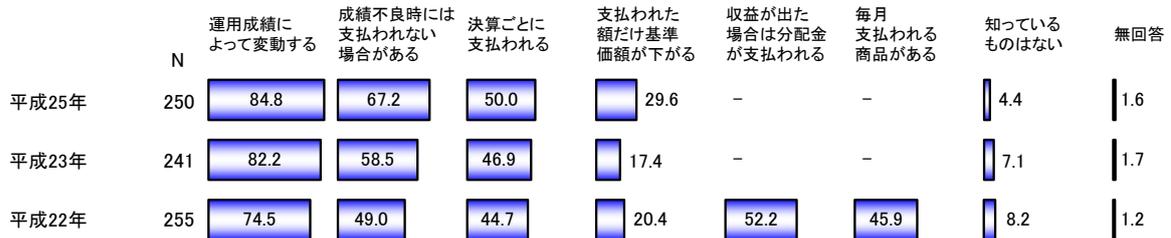
年代別にみると、認知率に明らかな差がみられる項目はない。

年収別では、「100万円未満」の層では「支払われた額だけ基準価額が下がる」の認知率が低い。

地域別では、首都圏は阪神圏に比べていずれの項目の認知率とも高い。

投資信託保有状況別にみると、現在保有層は保有経験層に比べ「決算ごとに支払われる」と「支払われた額だけ基準価額が下がる」の認知率が大きく上回っており、現在保有層の方が『分配金』について多様な面を認知している。

問13【「分配金」の特徴認知状況(重複回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】

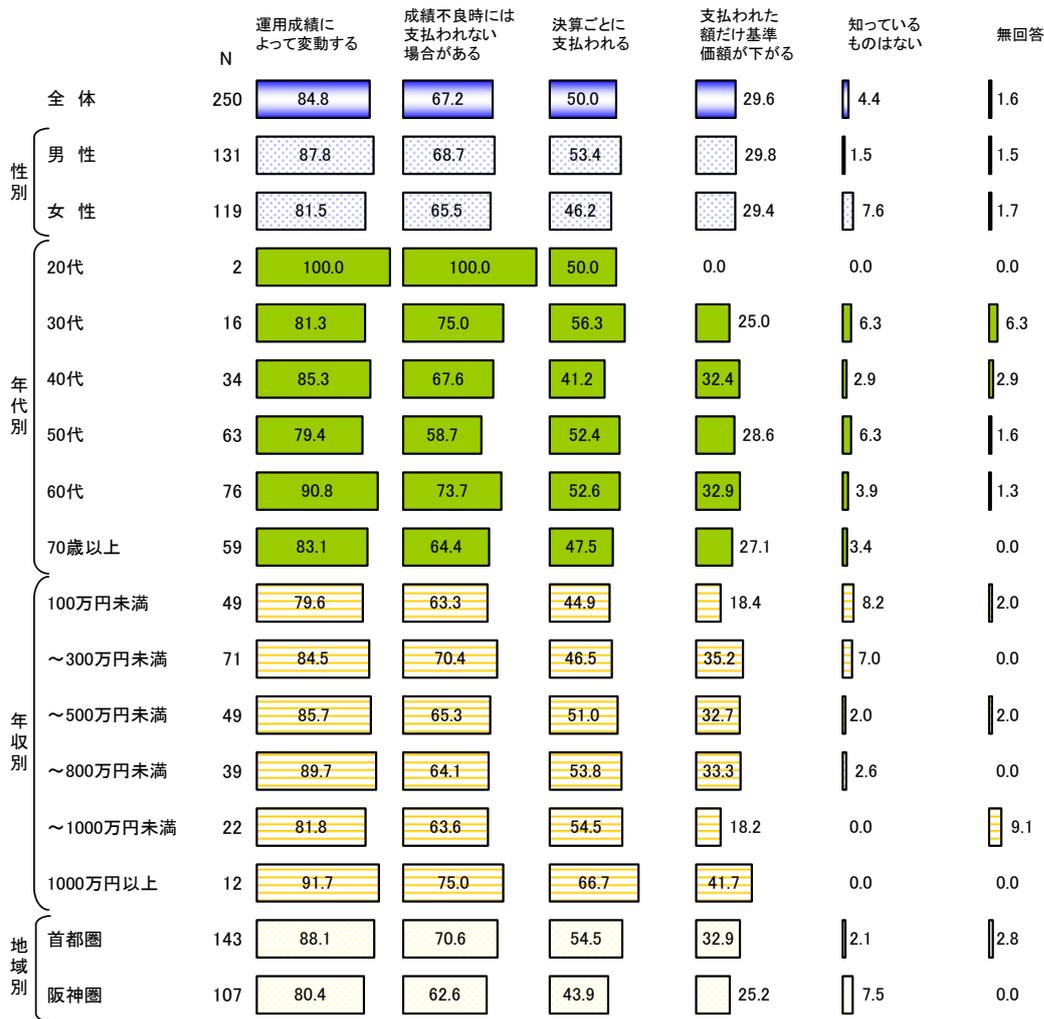


※ 平成23年より「収益が出た場合は分配金が支払われる」「毎月支払われる商品がある」を削除。

問 13 【「分配金」の特徴認知状況(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

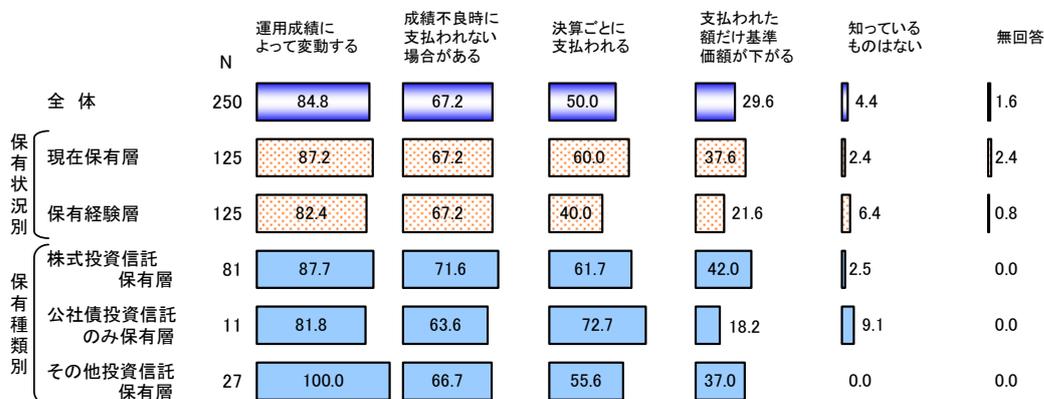
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 13 【「分配金」の特徴認知状況(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



(11) 投資信託説明書（目論見書）閲読状況

① 投資信託説明書（目論見書）閲読経験

投資信託説明書（目論見書）については、「全部読んだ」は4.8%と少ないながらも、「必要と思われる項目を読んだ」が34.8%であり、これらを合わせた“閲読率”は39.6%である。これに対し、「あまり読まなかった」は59.2%であり、半数以上がしっかりと読んでいない。

対象者属性別で見ると、性別では、男性の方が“閲読率”は高い。

年代別では、“閲読率”は40代で最も高く、70歳以上もやや高い。

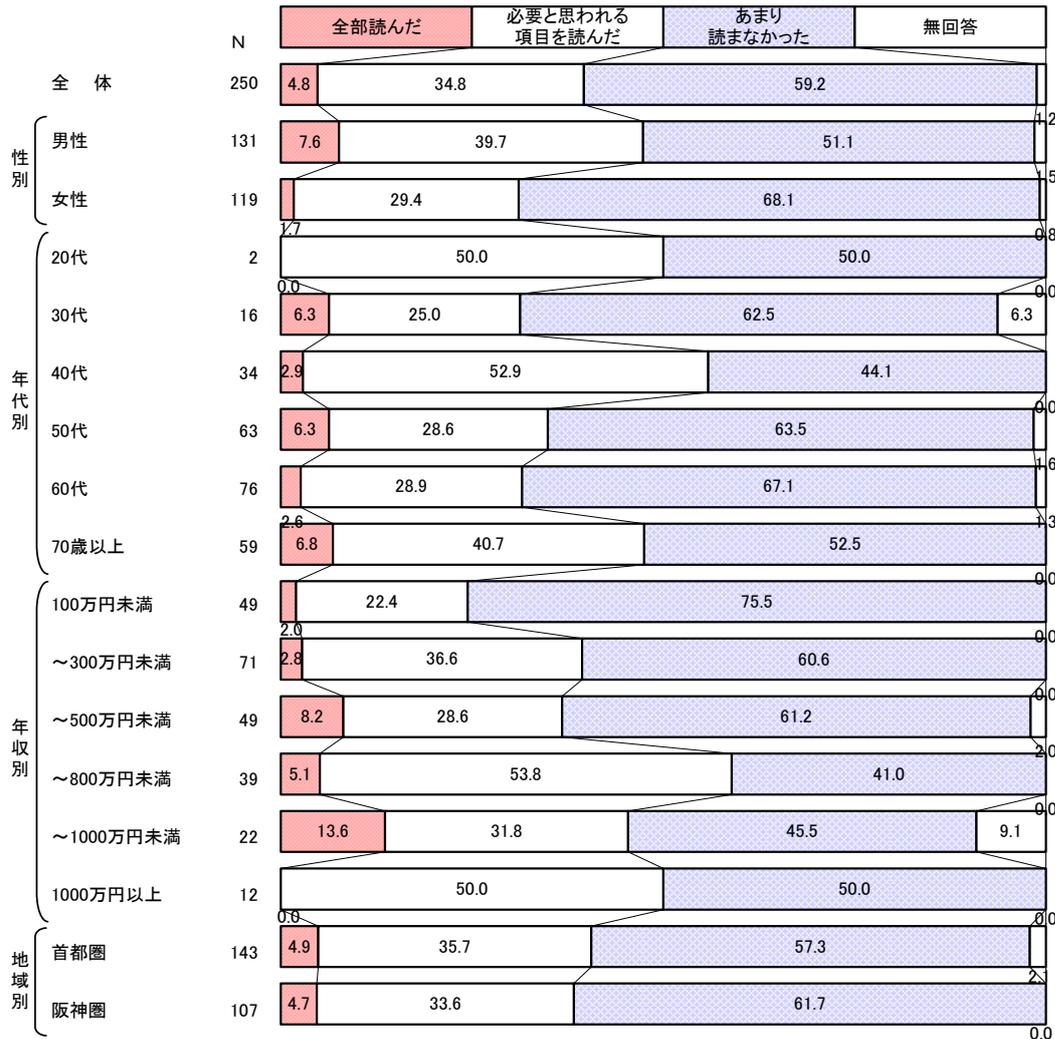
年収別では、“閲読率”は「100万円未満」の層で最も低く、「～800万円未満」の層で最も高い。

地域別では、大きな差はみられない。

投資信託保有状況別では、“閲読率”は現在保有層の方が保有経験層より高い。

問 14 【投資信託説明書閲読経験(単数回答)／対象者属性別－現在保有層・保有経験層ベース】

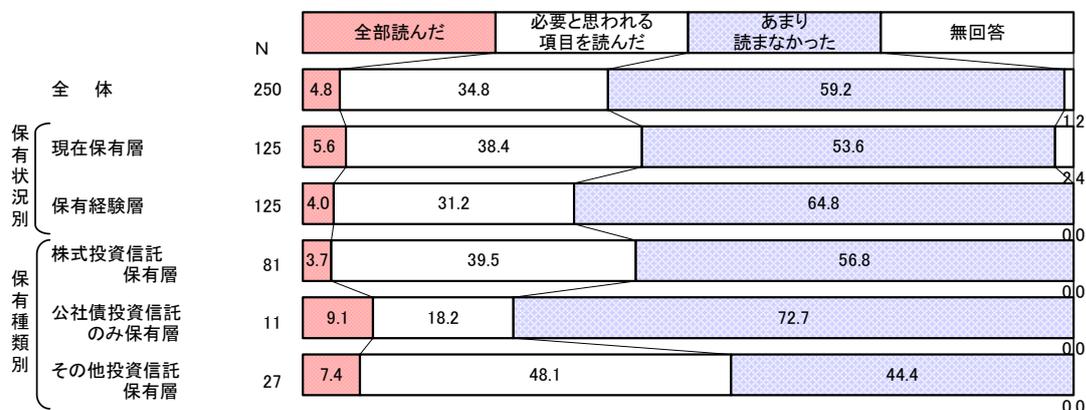
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 14 【投資信託説明書閲読経験(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



②投資信託説明書（目論見書）の感想（現在保有層・保有経験層のうち投資信託説明書閲読経験者）

投資信託説明書（目論見書）閲読経験者にその感想を尋ねたところ、「内容が多すぎる」が72.7%で最も高く、「専門用語が多すぎてわかりにくい」（45.5%）、「重要な箇所がわからない」（37.4%）という意見も多い。「読みやすい・わかりやすい」とプラスに評価したのは8.1%のみである。

対象者属性別については、性別では、女性は男性より「専門用語が多すぎてわかりにくい」「グラフや図がわかりにくい」が高い。

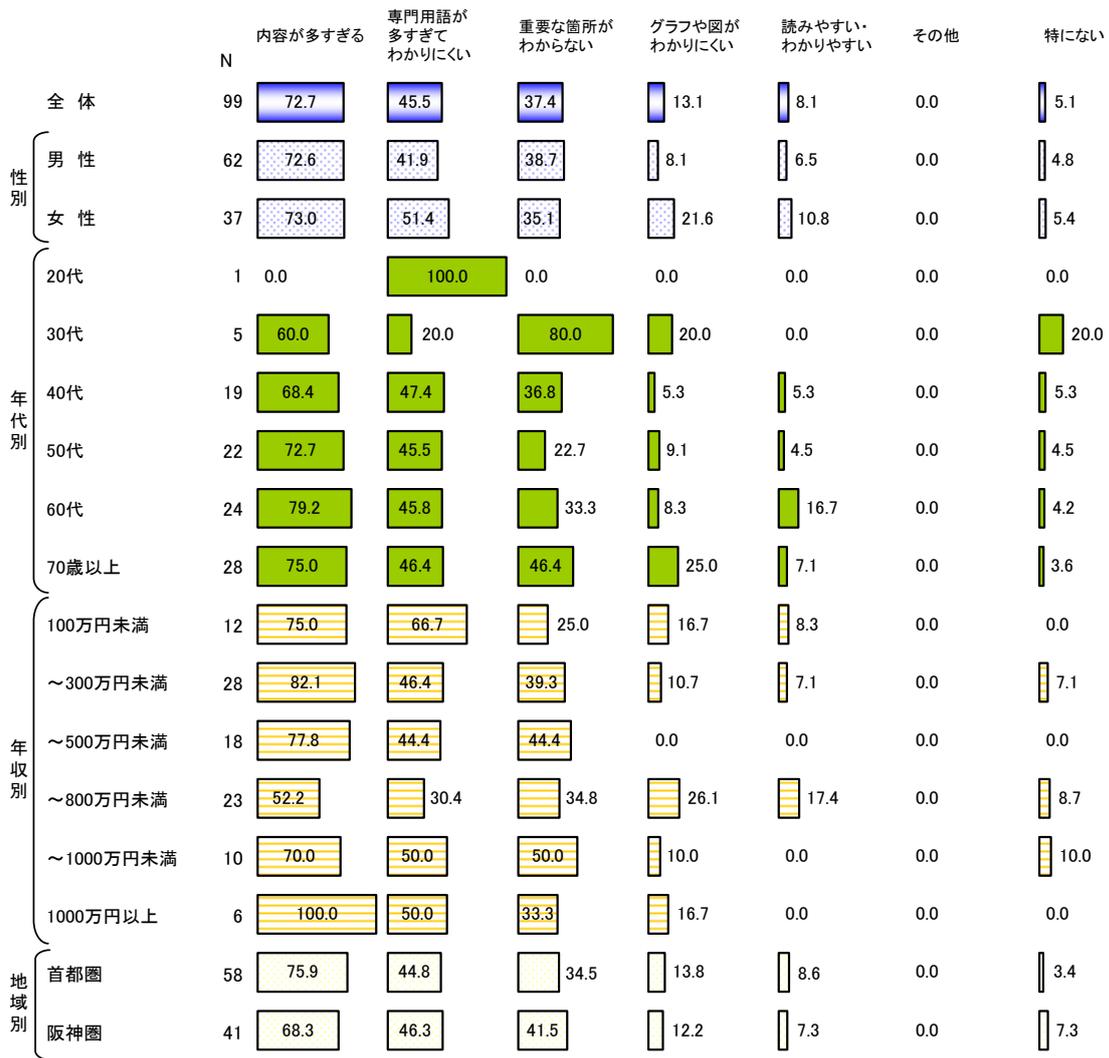
地域別では、大きな差はみられない。

投資信託保有状況別では、現在保有層の方が保有経験層より「重要な箇所がわからない」と感じる率が高い。

問 14-1 【投資信託説明書の感想(重複回答) / 対象者属性別

ー現在保有層・保有経験層のうち投資信託説明書読経験者ベース】

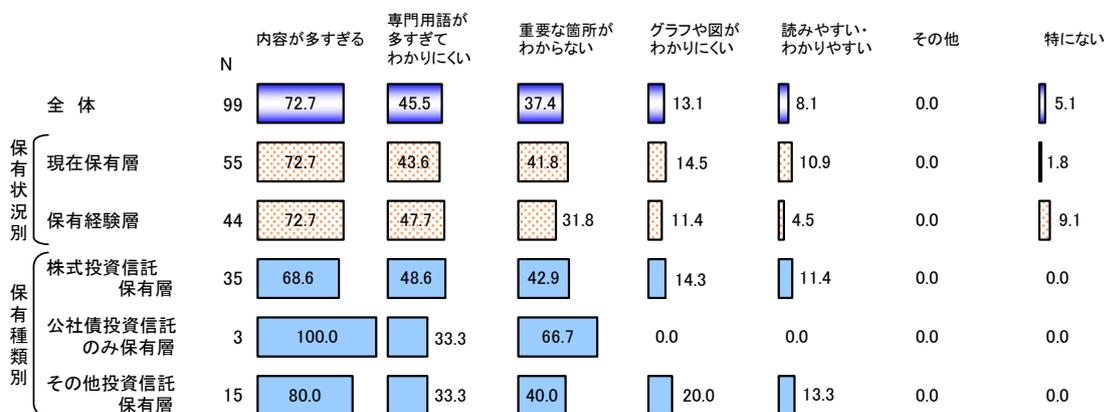
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 14-1 【投資信託説明書の感想(重複回答) / 保有状況・保有種類別

ー現在保有層・保有経験層のうち投資信託説明書読経験者ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



(12) 運用報告書閲読状況

① 運用報告書閲読経験

運用報告書については、「全部読んだ」は5.6%と少ないながらも、「必要と思われる項目を読んだ」が52.0%であり、これらを合わせた“閲読経験率”は57.6%と半数を超える。とはいえ、「読んだことはない」が39.2%であり、目を通していない人も多い。

時系列では項目が変わったため、平成22年以前の“閲読経験率(「読んだことがある」のみ)”と平成23年以降の“閲読経験率(「全部読んだ」と「必要と思われる項目を読んだ」の和)”と比べると、平成20年から前回まで下降傾向がみられていたが、今回は前回より4.5ポイント高くなった。

対象者属性別でみると、性別では、男性の方が“閲読経験率”は高い。

年代別では、“閲読経験率”は50～60代では50%台だが、40代や70歳以上では60%台とやや高い。

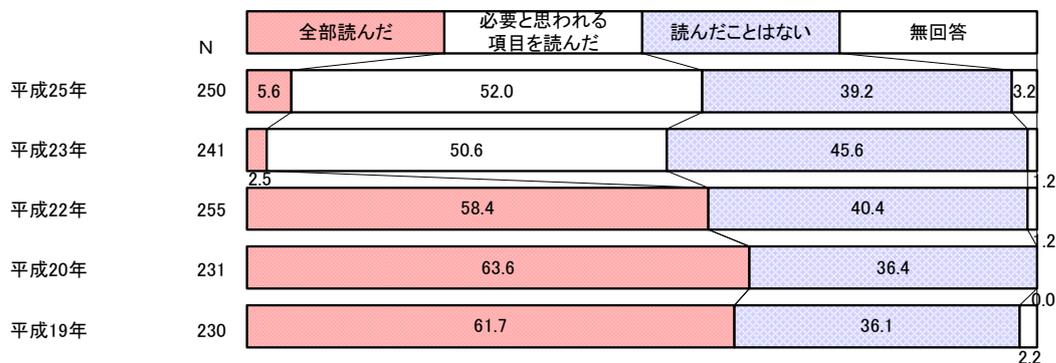
年収別では、“閲読経験率”は「～800万円未満」の層が最も高い。

地域別では、大きな差はみられない。

投資信託保有状況別では、“閲読経験率”は現在保有層の方が保有経験層より高い。

投資信託保有種類別では、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層と比べて、“閲読経験率”が低い。

問15【運用報告書閲読経験(単数回答)／時系列—現在保有層・保有経験層ベース】

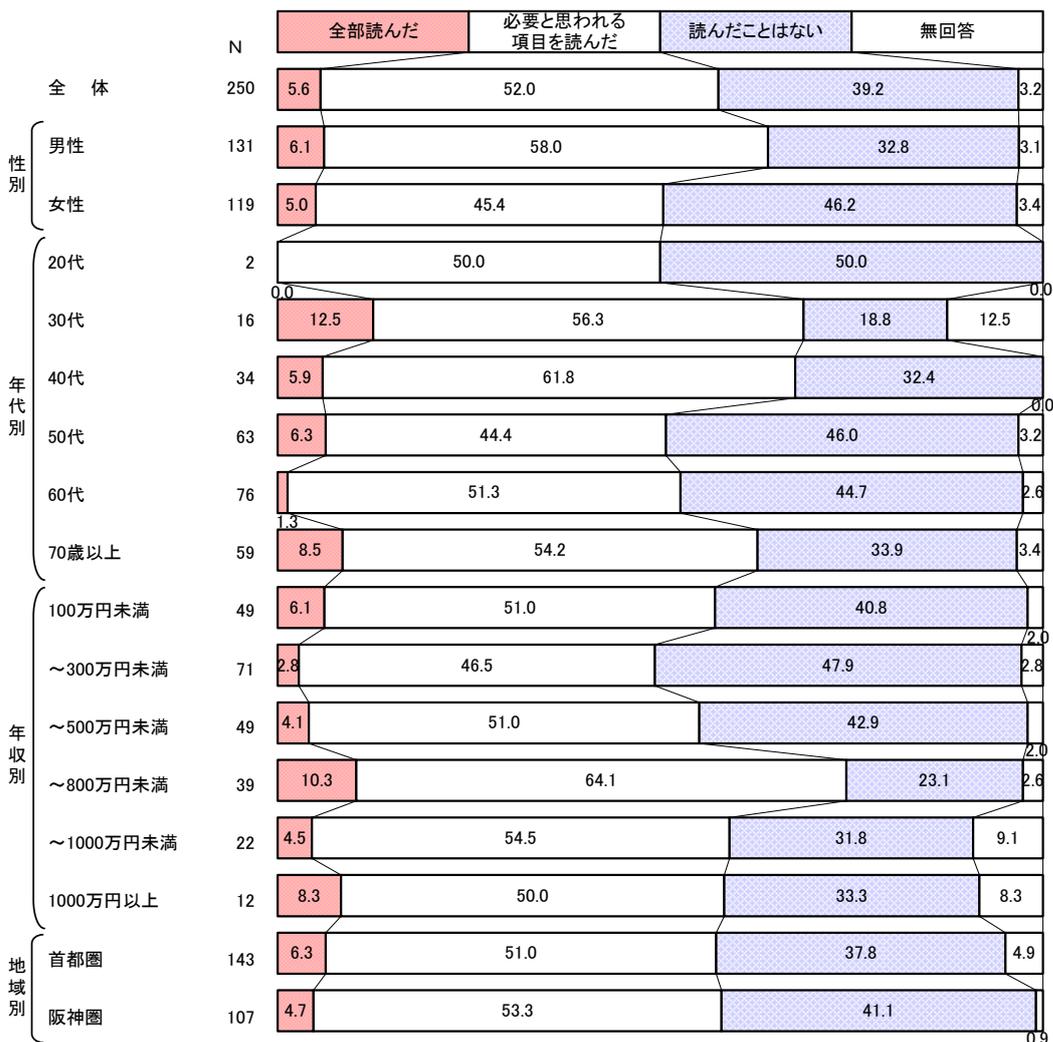


※ 平成23年より「必要と思われる項目を読んだ」を追加。

「全部読んだ」は、平成22年以前は「読んだことがある」で調査。

問 15 【運用報告書閲読経験(単数回答)／対象者属性別—現在保有層・保有経験層ベース】

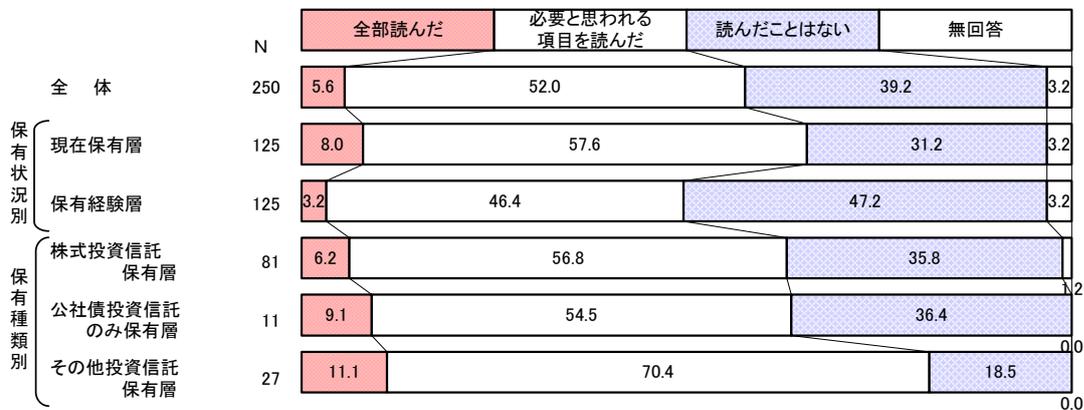
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 15 【運用報告書閲読経験(単数回答)／保有状況・保有種類別

—現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



②運用報告書の感想(現在保有層・保有経験層のうち運用報告書読読経験者)

運用報告書読読経験者にその感想を尋ねたところ、「内容が多すぎる」が61.1%で最も高く、「重要な箇所がわからない」(38.2%)、「専門用語が多すぎてわかりにくい」(35.4%)という意見が多く、「読みやすい・わかりやすい」とプラスに評価したのは4.2%に過ぎない。

対象者属性別については、性別では、女性は男性より「内容が多すぎる」がやや高い。

年代別では、60代で「重要な箇所がわからない」がやや低く、70歳以上で「グラフや図がわかりにくい」が高い。

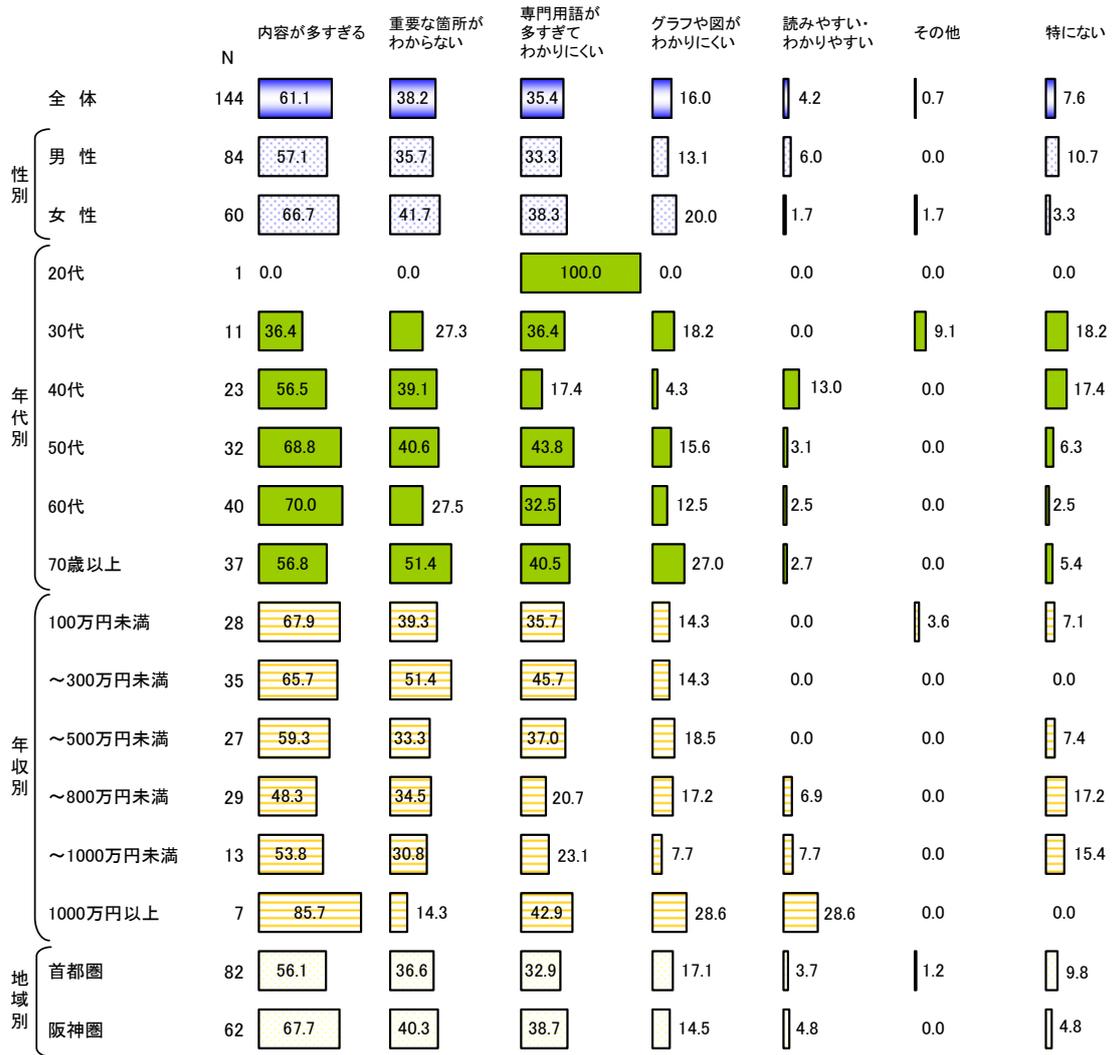
地域別では、阪神圏は首都圏に比べ「内容が多すぎる」が高い。

投資信託保有状況別では、現在保有層の方が保有経験層より「内容が多すぎる」と感じる率が低い。

問 15-1 【運用報告書の感想(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層保有経験層のうち運用報告書閲覧経験者ベース】

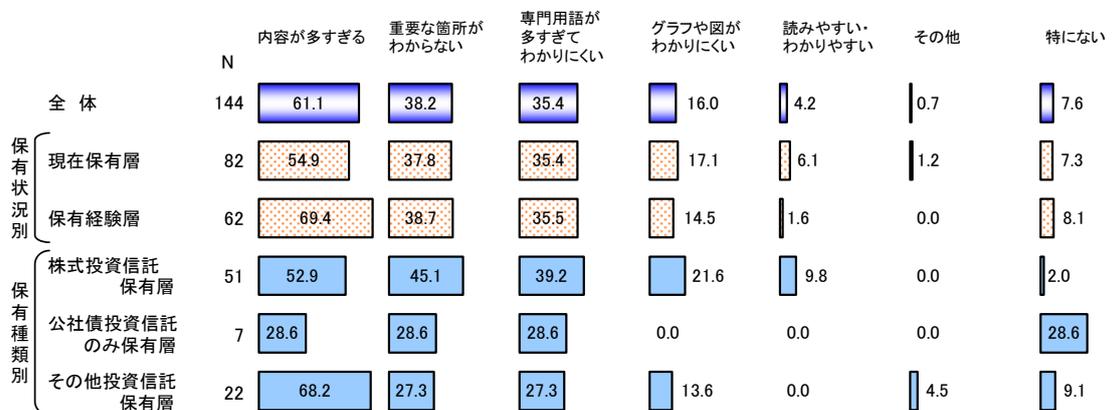
※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



問 15-1 【運用報告書の感想(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層のうち運用報告書閲覧経験者ベース】

※N数(サンプル数)が少ないため、データを見る際に注意が必要。



(13) 評価会社による運用評価の認知・利用状況

評価会社による運用評価については、「評価会社の評価を参考に購入したことがある」は6.0%にとどまるが、「評価会社の評価を見たことがある」は44.8%であり、両者を合わせた“認知率”は50.8%である。一方、「評価会社があること自体知らなかった」は47.6%を占め、両者がほぼ拮抗している。

時系列で見ると、“認知率”は前回に比べ6.8ポイント高くなった。

対象者属性別で見ると、性別では、男性の方が“認知率”が高い。

年代別では、40代の“認知率”が特に高い。

年収別では、“認知率”は“300万円未満”の低年収層より、“300万円以上800万円未満”の中間層の方が高い。

地域別では、“認知率”は首都圏の方が阪神圏より高い。

投資信託保有状況別では、“認知率”は現在保有層の方が保有経験層より高い。

問 18【評価会社による運用評価の認知・利用状況(単数回答)／時系列

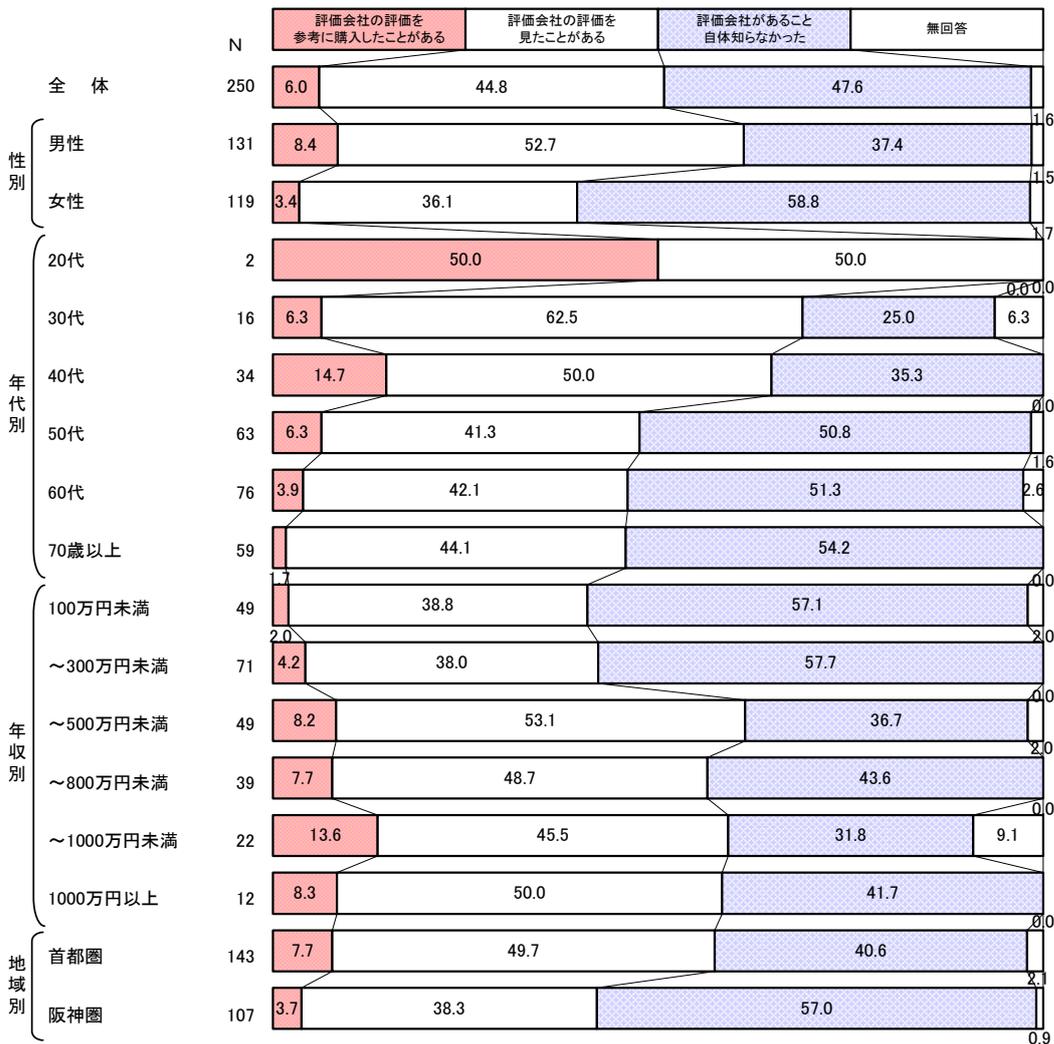
—現在保有層・保有経験層ベース】

	N	評価会社の評価を参考に購入したことがある	評価会社の評価を見たことがある	評価会社があること自体知らなかった	無回答
平成25年	250	6.0	44.8	47.6	1.6
平成23年	241	6.2	37.8	53.1	2.9
平成22年	255	7.5	39.2	51.0	2.4
平成20年	231	3.9	39.4	55.4	1.3
平成19年	230	5.2	38.3	52.6	3.9

問 18【評価会社による運用評価の認知・利用状況(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース】

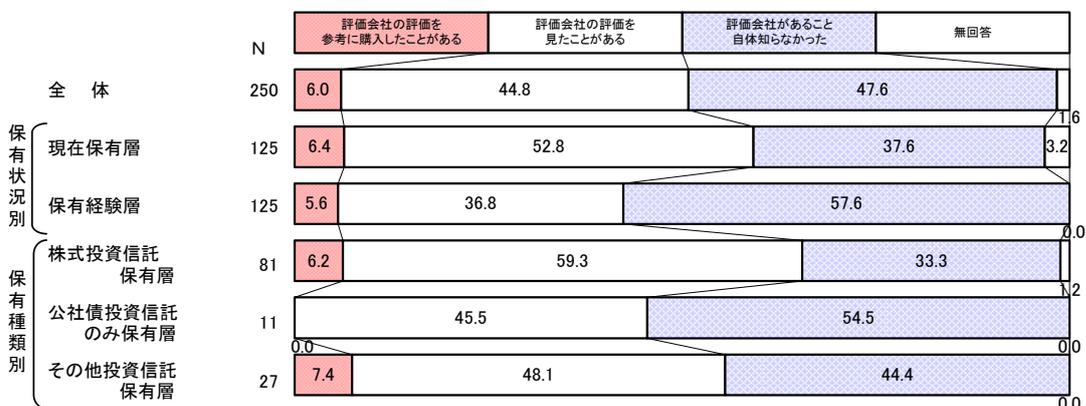
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 18【評価会社による運用評価の認知・利用状況(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



(14) 投資信託会社のホームページ利用経験

投資信託等の情報を得るために投資信託会社のホームページを「よく利用する」のは 4.0%、「たまに利用する」は 20.8%であり、両者を合わせた“HP利用率”は 24.8%である。一方、「利用したことはない」は 74.0%と大半を占める。

時系列でみると、“HP利用率”には上昇傾向がみられる。

対象者属性別でみると、性別では、男性は女性より“HP利用率”が高い。

年代別でみると“HP利用率”は若年層ほど高く、40代では40%近くを占めるが、70歳以上では10%程度に下がる。

年収別では、“HP利用率”は年収が高いほど高くなる傾向がみられる。

地域別では、“HP利用率”は首都圏の方が阪神圏よりやや高い。

投資信託保有状況別については、現在保有層は保有経験層より“HP利用率”が高い。

問 19 【投資信託会社のホームページ利用経験(単数回答)／時系列

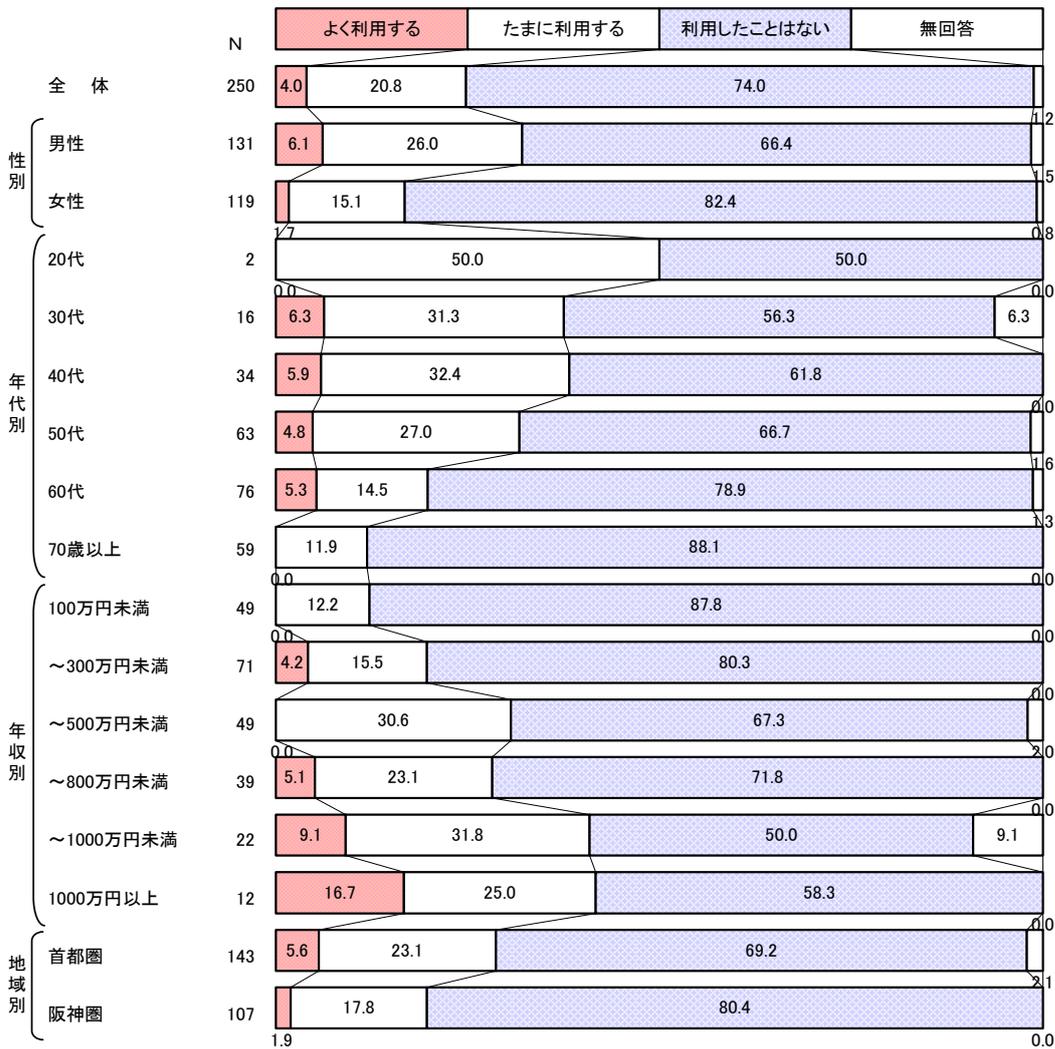
－現在保有層・保有経験層ベース】

	N	よく利用する	たまに利用する	利用したことはない	無回答
平成25年	250	4.0	20.8	74.0	1.2
平成23年	241	4.1	16.2	78.0	1.7
平成22年	255	3.1	15.3	81.2	0.4

問 19 【投資信託会社のホームページ利用経験(単数回答)】／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

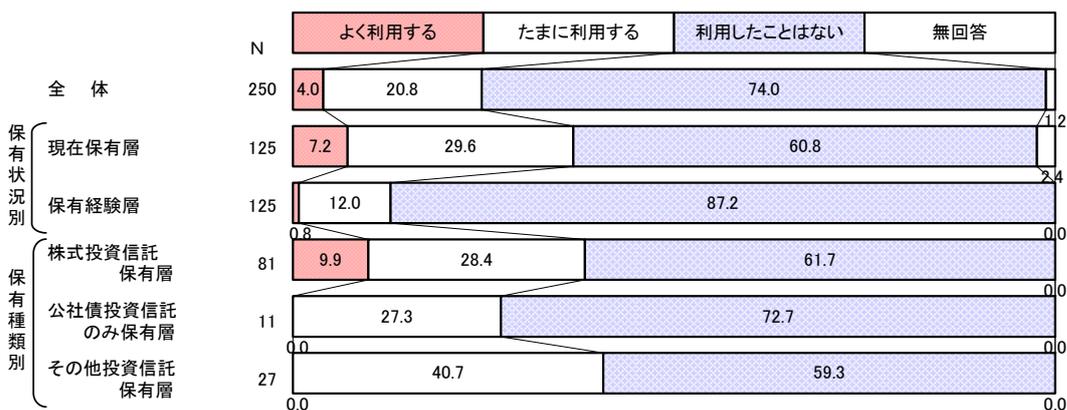
※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 19 【投資信託会社のホームページ利用経験(単数回答)】／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



(15) 投資信託の優れていると感じる点

他の金融商品と比較して投資信託が優れていると感じる点(重複回答)は、「専門知識がなくても投資ができる」(48.4%)、「定期的に分配金が受け取れる」(45.2%)、「比較的高い利回りが期待できる」(43.6%)の3項目が上位に並んでいる。以下、「少額でも株式投資の面白味がある」(33.2%)、「購入手続きが簡単である」(27.6%)、「少額でも分散投資ができる」(26.0%)、「種類が豊富で目的に応じて選べる」(22.4%)の順に高い。

時系列でみると、「専門知識がなくても投資ができる」と「比較的高い利回りが期待できる」は低下傾向が続いていたが、今回はいずれも前回より高くなっている(順に8.2ポイント、10.0ポイント)。また、「種類が豊富で目的に応じて選べる」は前回大きく下がったが、今回は8.7ポイント高くなり、前々回レベルに近づいた。

対象者属性別にみると、性別では、男性は「少額でも株式投資の面白味がある」「少額でも分散投資ができる」「種類が豊富で目的に応じて選べる」「積立て投資ができる」「分配金が自動的に複利に回る商品がある」が高く、多様な点を評価しているが、女性では「定期的に分配金が受け取れる」「購入手続きが簡単である」がやや高い。

年代別では、「定期的に分配金が受け取れる」は60代を中心とした層で高い傾向である。

年収別でみると、“800万円未満”の層では「定期的に分配金が受け取れる」は年収の低い層ほど高い傾向がみられる。「少額でも株式投資の面白味がある」や「購入手続きが簡単である」は「~300万円未満」の層で最も低く、年収が高いほど高くなる。「少額でも分散投資ができる」は「100万円未満」で特に低く、「積立て投資ができる」は“300万円未満”の低年収層よりそれ以上の年収層の方がやや高い。

地域別では、首都圏の方が阪神圏より高い項目が多く、首都圏の方が多様な点を評価している。

投資信託保有状況別でみると、現在保有層は保有経験層に比べ「定期的に分配金が受け取れる」「比較的高い利回りが期待できる」「少額でも分散投資ができる」などが高く、多様な点を評価している。一方「積立て投資ができる」は保有経験層の方が高い。

投資信託が優れていると感じる点のうち、特に魅力を感じる点(単数回答)としては、「定期的に分配金が受け取れる」(19.2%)と「比較的高い利回りが期待できる」(18.0%)がほぼ同率で高く、「専門知識がなくても投資ができる」(15.6%)が続く。

時系列でみると、「専門知識がなくても投資ができる」は前回まで低下傾向がみられたが、今回は6.1ポイント高くなった。

対象者属性別にみると、性別では、女性の方が「よくわからない」が高いが、それ以外の項目では大きな差はみられない。

年代別では、40代では「専門知識がなくても投資ができる」が最も高いが、50代では「比較的高い利回りが期待できる」、60代以上では「定期的に分配金が受け取れる」がトップである。

年収別では、「定期的に分配金が受け取れる」は、年収が低いほど高い。

地域別では、阪神圏は首都圏に比べ「定期的に分配金が受け取れる」は高いが、「専門知識がなくても投資できる」はやや低い。

投資信託保有状況別では、現在保有層は保有経験層に比べて「定期的に分配金が受け取れる」が高い。

問 20①【投資信託の優れていると感じる点(重複回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層ベース

	N	専門知識がなくても投資ができる	定期的に分配金が受け取れる	比較的高い利回りが期待できる	少額でも株式投資の面白味がある	購入手続きが簡単である	少額でも分散投資ができる	種類が豊富で目的に応じたものを選べる	海外投資が手軽にできる	積立て投資ができる	分配金が自動的に権利に回る商品がある	その他	よくわからない	無回答
平成25年	250	48.4	45.2	43.6	33.2	27.6	26.0	22.4	17.6	16.8	12.4	0.8	8.8	1.6
平成23年	241	40.2	43.6	33.6	29.0	26.6	28.2	13.7	17.4	15.4	14.5	0.4	14.1	2.1
平成22年	255	43.9	46.3	35.3	35.7	27.1	-	25.9	20.0	21.6	16.9	1.2	12.5	1.2
平成20年	231	52.4	48.9	45.5	34.2	32.9	-	19.9	18.6	18.6	14.7	1.3	6.9	0.9
平成19年	230	50.0	43.0	49.6	33.5	30.4	-	18.7	16.5	18.3	21.7	1.3	9.1	3.0

※ 平成23年より「少額でも分散投資ができる」を追加。

問 20①【投資信託の優れていると感じる点(重複回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	専門知識がなくても投資ができる	定期的に分配金が受け取れる	比較的高い利回りが期待できる	少額でも株式投資の面白味がある	購入手続きが簡単である	少額でも分散投資ができる	種類が豊富で目的に応じたものを選べる	海外投資が手軽にできる	積立て投資ができる	分配金が自動的に権利に回る商品がある	その他	よくわからない	無回答
全体	250	48.4	45.2	43.6	33.2	27.6	26.0	22.4	17.6	16.8	12.4	0.8	8.8	1.6
性別														
男性	131	50.4	43.5	44.3	37.4	25.2	29.0	29.0	18.3	22.9	16.0	1.5	3.1	2.3
女性	119	46.2	47.1	42.9	28.6	30.3	22.7	15.1	16.8	10.1	8.4	0.0	15.1	0.8
年代別														
20代	2	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	16	37.5	43.8	37.5	50.0	25.0	68.8	6.3	18.8	18.8	6.3	0.0	0.0	6.3
40代	34	61.8	32.4	50.0	35.3	20.6	29.4	29.4	32.4	17.6	17.6	0.0	5.9	0.0
50代	63	46.0	44.4	39.7	31.7	33.3	20.6	11.1	15.9	15.9	12.7	0.0	12.7	1.6
60代	76	46.1	59.2	48.7	34.2	26.3	21.1	26.3	17.1	14.5	11.8	2.6	6.6	1.3
70歳以上	59	49.2	37.3	39.0	27.1	27.1	23.7	28.8	11.9	18.6	11.9	0.0	11.9	1.7
年収別														
100万円未満	49	51.0	53.1	36.7	30.6	30.6	14.3	14.3	22.4	10.2	8.2	0.0	12.2	0.0
～300万円未満	71	50.7	47.9	40.8	25.4	19.7	28.2	23.9	15.5	11.3	9.9	0.0	14.1	0.0
～500万円未満	49	53.1	42.9	49.0	38.8	30.6	24.5	20.4	14.3	24.5	14.3	2.0	8.2	4.1
～800万円未満	39	53.8	33.3	46.2	48.7	38.5	35.9	28.2	15.4	23.1	17.9	0.0	2.6	0.0
～1000万円未満	22	31.8	40.9	40.9	13.6	13.6	27.3	27.3	18.2	22.7	18.2	4.5	4.5	9.1
1000万円以上	12	41.7	41.7	66.7	50.0	33.3	25.0	16.7	25.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0
地域別														
首都圏	143	51.7	46.2	47.6	35.7	31.5	32.2	25.9	23.8	22.4	12.6	1.4	4.2	2.1
阪神圏	107	43.9	43.9	38.3	29.9	22.4	17.8	17.8	9.3	9.3	12.1	0.0	15.0	0.9

問 20①【投資信託の優れていると感じる点(重複回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	専門知識がなくても投資ができる	定期的に分配金が受け取れる	比較的高い利回りが期待できる	少額でも株式投資の面白味がある	購入手続きが簡単である	少額でも分散投資ができる	種類が豊富で目的に応じたものを選べる	海外投資が手軽にできる	積立て投資ができる	分配金が自動的に権利に回る商品がある	その他	よくわからない	無回答
全体	250	48.4	45.2	43.6	33.2	27.6	26.0	22.4	17.6	16.8	12.4	0.8	8.8	1.6
保有状況別														
現在保有層	125	49.6	54.4	51.2	33.6	25.6	32.0	23.2	20.8	8.0	12.8	0.8	3.2	2.4
保有経験層	125	47.2	36.0	36.0	32.8	29.6	20.0	21.6	14.4	25.6	12.0	0.8	14.4	0.8
保有種類別														
株式投資信託保有層	81	50.6	58.0	51.9	33.3	25.9	29.6	22.2	24.7	9.9	13.6	1.2	2.5	0.0
公社債投資信託のみ保有層	11	45.5	36.4	45.5	27.3	36.4	36.4	45.5	9.1	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0
その他投資信託保有層	27	51.9	59.3	59.3	44.4	25.9	37.0	18.5	18.5	3.7	14.8	0.0	3.7	0.0

問 20②【投資信託の特に魅力を感じる点(単数回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層ベース

1つだけ

	N	定期的に 分配金が 受け取れる	比較的高い 利回りが 期待できる	専門知識が なくても 投資が できる	少額でも 株式投資の 面白味 がある	種類が豊富 で目的に 応じたもの が選べる	少額でも 分散投資が できる	海外投資が 手軽に できる	積立て 投資が できる	購入手続き が簡単で ある	分配金が 自動的に 権利に 商品がある	その他	よく わからない	無回答
平成25年	250	19.2	18.0	15.6	10.4	5.6	5.6	4.8	4.0	2.8	0.4	0.8	9.2	3.6
平成23年	241	19.1	19.9	9.5	10.8	2.9	8.3	4.1	2.9	2.5	3.3	0.4	13.7	2.5
平成22年	255	25.5	16.5	11.0	11.8	4.3	-	2.7	5.5	4.3	2.0	0.0	14.1	2.4
平成20年	231	23.8	19.0	13.4	12.6	3.0	-	4.8	4.3	4.8	2.6	0.9	8.2	2.6
平成19年	230	20.0	27.8	14.3	9.1	4.3	-	1.3	3.9	1.7	2.6	1.3	10.4	3.0

※ 平成23年より「少額でも分散投資ができる」を追加。

問 20②【投資信託の特に魅力を感じる点(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1つだけ

	N	定期的に 分配金が 受け取れる	比較的高い 利回りが 期待できる	専門知識が なくても 投資が できる	少額でも 株式投資の 面白味 がある	種類が豊富 で目的に 応じたもの が選べる	少額でも 分散投資が できる	海外投資が 手軽に できる	積立て 投資が できる	購入手続き が簡単で ある	分配金が 自動的に 権利に 商品がある	その他	よく わからない	無回答
全体	250	19.2	18.0	15.6	10.4	5.6	5.6	4.8	4.0	2.8	0.4	0.8	9.2	3.6
性別														
男性	131	19.8	17.6	16.8	11.5	7.6	3.8	5.3	6.1	3.1	0.8	1.5	3.1	3.1
女性	119	18.5	18.5	14.3	9.2	3.4	7.6	4.2	1.7	2.5	0.0	0.0	16.0	4.2
年代別														
20代	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	16	12.5	12.5	12.5	18.8	0.0	6.3	18.8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
40代	34	17.6	14.7	26.5	8.8	2.9	8.8	5.9	5.9	0.0	2.9	0.0	5.9	0.0
50代	63	12.7	28.6	19.0	6.3	3.2	3.2	3.2	3.2	6.3	0.0	0.0	12.7	1.6
60代	76	26.3	14.5	13.2	9.2	6.6	6.6	6.6	1.3	1.3	0.0	2.6	7.9	3.9
70歳以上	59	20.3	15.3	10.2	13.6	10.2	5.1	0.0	3.4	3.4	0.0	0.0	11.9	6.8
年収別														
100万円未満	49	26.5	14.3	16.3	12.2	4.1	6.1	4.1	2.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
～300万円未満	71	19.7	16.9	16.9	8.5	5.6	7.0	5.6	1.4	2.8	0.0	0.0	14.1	1.4
～500万円未満	49	16.3	18.4	12.2	10.2	6.1	2.0	2.0	8.2	4.1	0.0	2.0	8.2	10.2
～800万円未満	39	15.4	15.4	15.4	15.4	10.3	7.7	5.1	5.1	5.1	2.6	0.0	2.6	0.0
～1000万円未満	22	22.7	18.2	22.7	4.5	0.0	0.0	4.5	9.1	0.0	0.0	4.5	4.5	9.1
1000万円以上	12	8.3	41.7	8.3	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別														
首都圏	143	16.1	19.6	18.2	9.1	6.3	5.6	6.3	4.9	4.2	0.0	1.4	4.2	4.2
阪神圏	107	23.4	15.9	12.1	12.1	4.7	5.6	2.8	2.8	0.9	0.9	0.0	15.9	2.8

問 20②【投資信託の特に魅力を感じる点(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1つだけ

	N	定期的に 分配金が 受け取れる	比較的高い 利回りが 期待できる	専門知識が なくても 投資が できる	少額でも 株式投資の 面白味 がある	種類が豊富 で目的に 応じたもの が選べる	少額でも 分散投資が できる	海外投資が 手軽に できる	積立て 投資が できる	購入手続き が簡単で ある	分配金が 自動的に 権利に 商品がある	その他	よく わからない	無回答
全体	250	19.2	18.0	15.6	10.4	5.6	5.6	4.8	4.0	2.8	0.4	0.8	9.2	3.6
保有状況別														
現在保有層	125	23.2	18.4	16.0	9.6	5.6	7.2	5.6	3.2	1.6	0.8	0.8	3.2	4.8
保有経験層	125	15.2	17.6	15.2	11.2	5.6	4.0	4.0	4.8	4.0	0.0	0.8	15.2	2.4
保有種類別														
株式投資信託 保有層	81	24.7	18.5	18.5	8.6	4.9	7.4	6.2	2.5	1.2	1.2	1.2	2.5	2.5
公社債投資信託 のみ保有層	11	18.2	9.1	18.2	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1
その他投資信託 保有層	27	25.9	25.9	7.4	14.8	0.0	11.1	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0

(16) 投資信託の不満を感じる点

①対象者属性別・保有状況別の不満を感じる点

投資信託の不満を感じる点(重複回答)は、「元本保証がない」が62.8%と最も高い。次いで「手数料が高い」(43.6%)が高く、以下、「公社債に比べて安心できない」(30.8%)、「運用実績がわかりにくい」(25.2%)、「種類が多く選択に迷う」(22.8%)、「購入後の運用に関する情報が少ない」(21.2%)、「株式に比べて面白さに欠ける」(20.8%)の順に続く。

時系列でみると、「公社債に比べて安心できない」と「株式に比べて面白さに欠ける」は前回より高くなった(順に6.7ポイント、5.4ポイント)。一方、「運用実績がわかりにくい」は平成22年以降わずかながら低下傾向がみられる。

対象者属性別でみると、性別では、男性は女性より「株式に比べて面白さに欠ける」という不満が高いが、女性は「元本保証がない」が70%以上と圧倒的に高く、「公社債に比べて安心できない」が男性よりやや高い。つまり、男性は投機的であるのに対し、女性は保守的であるといえる。

年代別では、40代は「公社債に比べて安心できない」がそれ以上の年代に比べてやや高い。

年収別では、「元本保証がない」は“300万円未満”の低年収層の方がそれ以上の年収層に比べ高い。

地域別では、首都圏は「手数料が高い」「公社債に比べて安心できない」「種類が多く選択に迷う」「購入後の運用に関する情報が少ない」等、多様な不満が高いが、阪神圏では「元本保証がない」が特に高く、他の不満は低い。

投資信託保有状況別については、現在保有層は保有経験層より「手数料が高い」の不満が高いが、保有経験層は「公社債に比べて安心できない」「購入後の運用に関する情報が少ない」が高い。

投資信託保有種類別でみると、株式投資信託保有層はその他投資信託保有層と比べて、「手数料が高い」不満が高い。

投資信託の不満を感じる点のうち、特に不満を感じる点(単数回答)でも「元本保証がない」が38.0%を占め、特に高い。第2位は「手数料が高い」(14.4%)であり、第3位以下は10%に満たない。

時系列でみても、大きな変化はみられない。

対象者属性別についてみると、性別では、女性は男性に比べ「元本保証がない」不満が高い。

年代別では、「元本保証がない」不満は70歳以上でやや低い。

年収別でみると、「元本保証がない」不満は“300万円未満”の低年収層の方がそれ以上の年収層よりやや高い。

地域別では、阪神圏は首都圏に比べ「元本保証がない」不満が高い。

投資信託保有状況別については、現在保有層は保有経験層に比べ「手数料が高い」不満が高い。

「購入後の運用に関する情報が少ない」は、現在保有層の方が不満が低い。

問 21①【投資信託の不満に感じる点(重複回答)】／時系列－現在保有層・保有経験層ベース

	N	元本保証がない	手数料が高い	公社債に比べて安心してできない	運用実績がわかりにくい	種類が多く選択に迷う	購入後の運用に関する情報が少ない	株式に比べて面白さに欠ける	利回りがものたりない	購入手続きがわずらわしい	なんとなくなじめない	クローズド期間がある	近くに証券会社銀行等の店舗がない	その他	よくわからない	無回答
平成25年	250	62.8	43.6	30.8	25.2	22.8	21.2	20.8	16.0	7.2	7.2	4.8	3.6	1.6	5.6	1.6
平成23年	241	60.6	39.8	24.1	28.2	20.3	16.6	15.4	16.2	7.1	12.0	5.8	4.1	2.5	7.9	2.1
平成22年	255	59.6	37.6	25.5	32.5	18.8	16.1	16.1	19.6	8.2	12.2	5.1	6.3	2.4	9.0	2.7
平成20年	231	62.8	42.4	26.8	32.5	20.8	17.3	17.7	21.2	5.6	6.9	4.3	5.6	3.0	6.1	1.3
平成19年	230	58.7	36.5	22.2	22.6	24.3	17.8	19.1	15.7	4.3	6.5	3.9	5.7	1.3	7.4	3.9

問 21①【投資信託の不満に感じる点(重複回答)】／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	元本保証がない	手数料が高い	公社債に比べて安心してできない	運用実績がわかりにくい	種類が多く選択に迷う	購入後の運用に関する情報が少ない	株式に比べて面白さに欠ける	利回りがものたりない	購入手続きがわずらわしい	なんとなくなじめない	クローズド期間がある	近くに証券会社銀行等の店舗がない	その他	よくわからない	無回答
全体	250	62.8	43.6	30.8	25.2	22.8	21.2	20.8	16.0	7.2	7.2	4.8	3.6	1.6	5.6	1.6
性別																
男性	131	54.2	43.5	28.2	22.9	24.4	19.8	29.0	17.6	6.9	7.6	6.1	3.1	2.3	3.8	2.3
女性	119	72.3	43.7	33.6	27.7	21.0	22.7	11.8	14.3	7.6	6.7	3.4	4.2	0.8	7.6	0.8
年代別																
20代	2	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	16	50.0	43.8	12.5	12.5	31.3	12.5	25.0	12.5	12.5	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
40代	34	61.8	44.1	44.1	23.5	26.5	14.7	11.8	17.6	11.8	11.8	2.9	0.0	0.0	2.9	0.0
50代	63	61.9	34.9	30.2	33.3	23.8	20.6	17.5	12.7	9.5	9.5	6.3	6.3	3.2	4.8	1.6
60代	76	67.1	52.6	28.9	22.4	23.7	22.4	25.0	18.4	7.9	7.9	1.3	3.9	0.0	6.6	1.3
70歳以上	59	61.0	39.0	32.2	25.4	16.9	27.1	22.0	16.9	0.0	1.7	5.1	1.7	3.4	8.5	1.7
年収別																
100万円未満	49	73.5	38.8	32.7	24.5	20.4	12.2	8.2	12.2	6.1	6.1	0.0	4.1	2.0	12.2	0.0
～300万円未満	71	71.8	45.1	33.8	28.2	23.9	29.6	22.5	15.5	9.9	7.0	7.0	4.2	1.4	4.2	0.0
～500万円未満	49	51.0	32.7	30.6	20.4	14.3	22.4	26.5	24.5	4.1	12.2	4.1	6.1	2.0	4.1	4.1
～800万円未満	39	59.0	48.7	25.6	28.2	30.8	20.5	20.5	17.9	5.1	5.1	12.8	0.0	2.6	5.1	0.0
～1000万円未満	22	50.0	50.0	31.8	27.3	27.3	13.6	22.7	9.1	9.1	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	9.1
1000万円以上	12	50.0	66.7	41.7	25.0	33.3	8.3	25.0	8.3	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地域別																
首都圏	143	59.4	49.0	37.8	25.2	28.0	25.2	24.5	16.8	9.8	5.6	4.9	4.2	1.4	2.8	2.1
阪神圏	107	67.3	36.4	21.5	25.2	15.9	15.9	15.9	15.0	3.7	9.3	4.7	2.8	1.9	9.3	0.9

問 21①【投資信託の不満に感じる点(重複回答)】／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	元本保証がない	手数料が高い	公社債に比べて安心してできない	運用実績がわかりにくい	種類が多く選択に迷う	購入後の運用に関する情報が少ない	株式に比べて面白さに欠ける	利回りがものたりない	購入手続きがわずらわしい	なんとなくなじめない	クローズド期間がある	近くに証券会社銀行等の店舗がない	その他	よくわからない	無回答
全体	250	62.8	43.6	30.8	25.2	22.8	21.2	20.8	16.0	7.2	7.2	4.8	3.6	1.6	5.6	1.6
保有状況別																
現在保有層	125	63.2	48.8	28.0	25.6	22.4	16.8	19.2	16.8	7.2	3.2	2.4	4.8	2.4	4.0	2.4
保有経験層	125	62.4	38.4	33.6	24.8	23.2	25.6	22.4	15.2	7.2	11.2	7.2	2.4	0.8	7.2	0.8
保有種類別																
株式投資信託保有層	81	67.9	55.6	27.2	25.9	24.7	18.5	23.5	17.3	7.4	4.9	2.5	6.2	1.2	3.7	0.0
公社債投資信託のみ保有層	11	54.5	45.5	27.3	18.2	9.1	9.1	18.2	9.1	18.2	0.0	9.1	0.0	9.1	9.1	0.0
その他投資信託保有層	27	59.3	37.0	33.3	33.3	22.2	14.8	7.4	18.5	0.0	0.0	0.0	3.7	3.7	3.7	0.0

問 21②【投資信託の特に不満を感じる点(単数回答)／時系列

－現在保有層・保有経験層ベース

1つだけ

	N	元本保証がない	手数料が高い	公社債に比べて安心してできない	購入後の運用に関する情報が少ない	株式に比べて面白さに欠ける	運用実績がわかりにくい	利回りがものたりない	種類が多く選択に迷う	なんとなくなじめない	購入手続きがわずらわしい	クローズド期間がある	近くに証券会社銀行等の店舗がない	その他	よくわからない	無回答
平成25年	250	38.0	14.4	8.4	6.8	5.6	5.2	3.6	2.8	2.4	1.6	1.2	0.8	0.8	6.8	1.6
平成23年	241	38.2	13.7	3.7	2.9	3.7	6.2	5.4	4.1	2.9	1.2	0.0	1.7	2.5	11.2	2.5
平成22年	255	36.9	11.4	5.9	1.6	3.9	9.0	7.1	3.5	3.5	2.0	0.4	0.4	2.0	9.8	2.7
平成20年	231	36.8	16.9	5.6	3.9	3.0	8.7	5.6	4.3	0.9	2.2	0.4	0.9	2.2	6.9	1.7
平成19年	230	35.2	17.0	3.5	3.9	5.7	3.9	7.0	3.5	1.3	0.4	0.4	2.2	1.3	10.4	4.3

問 21②【投資信託の特に不満を感じる点(単数回答)／対象者属性別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1つだけ

	N	元本保証がない	手数料が高い	公社債に比べて安心してできない	購入後の運用に関する情報が少ない	株式に比べて面白さに欠ける	運用実績がわかりにくい	利回りがものたりない	種類が多く選択に迷う	なんとなくなじめない	購入手続きがわずらわしい	クローズド期間がある	近くに証券会社銀行等の店舗がない	その他	よくわからない	無回答
全体	250	38.0	14.4	8.4	6.8	5.6	5.2	3.6	2.8	2.4	1.6	1.2	0.8	0.8	6.8	1.6
性別																
男性	131	31.3	15.3	8.4	6.9	7.6	6.1	2.3	4.6	3.1	2.3	1.5	1.5	1.5	5.3	2.3
女性	119	45.4	13.4	8.4	6.7	3.4	4.2	5.0	0.8	1.7	0.8	0.8	0.0	0.0	8.4	0.8
年代別																
20代	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30代	16	31.3	25.0	6.3	0.0	12.5	0.0	6.3	6.3	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3
40代	34	35.3	14.7	11.8	2.9	2.9	2.9	8.8	0.0	8.8	2.9	2.9	2.9	0.0	2.9	0.0
50代	63	42.9	14.3	7.9	1.6	3.2	9.5	0.0	3.2	3.2	3.2	1.6	0.0	0.0	7.9	1.6
60代	76	42.1	14.5	5.3	11.8	7.9	3.9	3.9	1.3	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.6	1.3
70歳以上	59	28.8	11.9	11.9	10.2	5.1	5.1	3.4	5.1	0.0	0.0	1.7	1.7	3.4	10.2	1.7
年収別																
100万円未満	49	51.0	8.2	10.2	0.0	6.1	8.2	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
～300万円未満	71	47.9	11.3	2.8	12.7	5.6	2.8	4.2	0.0	1.4	2.8	2.8	1.4	0.0	4.2	0.0
～500万円未満	49	26.5	14.3	14.3	10.2	2.0	2.0	6.1	8.2	4.1	2.0	0.0	0.0	2.0	4.1	4.1
～800万円未満	39	33.3	12.8	7.7	5.1	2.6	7.7	2.6	7.7	5.1	2.6	2.6	0.0	2.6	7.7	0.0
～1000万円未満	22	27.3	22.7	9.1	4.5	13.6	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	9.1	9.1
1000万円以上	12	16.7	33.3	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0
地域別																
首都圏	143	33.6	14.7	9.8	9.1	7.0	4.2	4.2	4.2	2.1	2.8	1.4	1.4	0.7	2.8	2.1
阪神圏	107	43.9	14.0	6.5	3.7	3.7	6.5	2.8	0.9	2.8	0.0	0.9	0.0	0.9	12.1	0.9

問 21②【投資信託の特に不満を感じる点(単数回答)／保有状況・保有種類別

－現在保有層・保有経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

1つだけ

	N	元本保証がない	手数料が高い	公社債に比べて安心してできない	購入後の運用に関する情報が少ない	株式に比べて面白さに欠ける	運用実績がわかりにくい	利回りがものたりない	種類が多く選択に迷う	なんとなくなじめない	購入手続きがわずらわしい	クローズド期間がある	近くに証券会社銀行等の店舗がない	その他	よくわからない	無回答
全体	250	38.0	14.4	8.4	6.8	5.6	5.2	3.6	2.8	2.4	1.6	1.2	0.8	0.8	6.8	1.6
保有状況別																
現在保有層	125	36.8	20.8	8.0	4.0	6.4	5.6	4.8	3.2	0.0	0.0	0.8	0.8	1.6	4.8	2.4
保有経験層	125	39.2	8.0	8.8	9.6	4.8	4.8	2.4	2.4	4.8	3.2	1.6	0.8	0.0	8.8	0.8
保有種類別																
株式投資信託保有層	81	38.3	23.5	4.9	4.9	8.6	3.7	3.7	3.7	0.0	0.0	1.2	1.2	1.2	4.9	0.0
公社債投資信託のみ保有層	11	36.4	18.2	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0
その他投資信託保有層	27	37.0	18.5	11.1	3.7	0.0	14.8	7.4	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0

②投資信託購入合計額別の不満に感じる点(現在保有層)

投資信託現在保有層に限定して、投資信託の購入合計額別(15 ページ参照)に、不満点(重複回答・単数回答)をみてみた。

N数(サンプル数)が少ない層があるため、参考データではあるが、いずれの層でも「元本保証がない」が最も高い。

重複回答では、「手数料が高い」は「100万円未満」の層でやや低く、「利回りがものたりない」はこの低額投資家層と「500万円以上」の高額投資家層ともに相対的に低い。高額投資家層では「種類が多く選択に迷う」も低いが、「購入後の運用に関する情報が少ない」不満は高い。「300万円未満」の比較的低い投資家層では、「運用実績がわかりにくい」がそれ以上の層より高めである。

単数回答では、上位2つ「元本保証がない」「手数料が高い」を合計すると、いずれの層も60%前後となる。

問 21①【投資信託の不満に感じる点(重複回答)】／投資信託購入合計額別

－現在保有層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	元本保証がない	手数料が高い	公社債に比べて安心できない	運用実績がわかりにくい	種類が多く選択に迷う	株式に比べて面白さに欠ける	利回りがものたりない	購入後の運用に関する情報が少ない	購入手続きがわずらわしい	近くに証券会社銀行等の店舗がない	なんとなくなじめない	クローズド期間がある	その他	よくわからない	無回答
全体	125	63.2	48.8	28.0	25.6	22.4	19.2	16.8	16.8	7.2	4.8	3.2	2.4	2.4	4.0	2.4
投資信託購入合計額別																
100万円未満	20	55.0	35.0	25.0	35.0	30.0	25.0	5.0	10.0	15.0	5.0	10.0	0.0	5.0	10.0	0.0
～300万円未満	37	67.6	54.1	27.0	29.7	27.0	16.2	24.3	13.5	2.7	2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0
～500万円未満	18	61.1	50.0	27.8	11.1	27.8	16.7	27.8	11.1	11.1	0.0	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0
500万円以上	34	67.6	55.9	32.4	20.6	14.7	20.6	11.8	29.4	2.9	8.8	2.9	2.9	2.9	5.9	0.0

問 21②【投資信託の特に不満に感じる点(単数回答)】／投資信託購入合計額別

－現在保有層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。

	N	元本保証がない	手数料が高い	公社債に比べて安心できない	株式に比べて面白さに欠ける	運用実績がわかりにくい	利回りがものたりない	購入後の運用に関する情報が少ない	種類が多く選択に迷う	クローズド期間がある	近くに証券会社銀行等の店舗がない	購入手続きがわずらわしい	なんとなくなじめない	その他	よくわからない	無回答
全体	125	36.8	20.8	8.0	6.4	5.6	4.8	4.0	3.2	0.8	0.8	0.0	0.0	1.6	4.8	2.4
投資信託購入合計額別																
100万円未満	20	45.0	10.0	10.0	5.0	10.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	10.0	0.0
～300万円未満	37	35.1	24.3	8.1	5.4	8.1	10.8	2.7	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
～500万円未満	18	44.4	16.7	5.6	5.6	0.0	5.6	5.6	5.6	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0
500万円以上	34	38.2	23.5	5.9	5.9	5.9	0.0	5.9	0.0	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0

1つだけ

5. 投資信託保有未経験者の状況

(1) 投資信託の購入意向経験

投資信託を認知しているにも関わらず、これまでに投資信託を購入したことがない人に対し、投資信託を購入したいと思ったことがあるかを尋ねたところ、「ある」＝購入意向経験率は8.0%にとどまった。

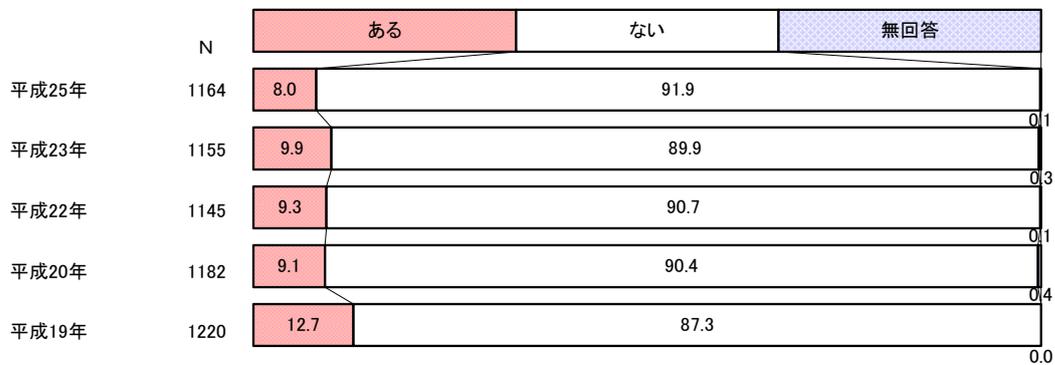
時系列でも、大きな変化はみられない。

対象者属性別にみると、性別では、購入意向経験率に差はみられない。

年代別でも、購入意向経験率に大きな差はみられない。

年収別でも、購入意向経験率に大きな差はみられない（「1000万円以上」は参考値）。

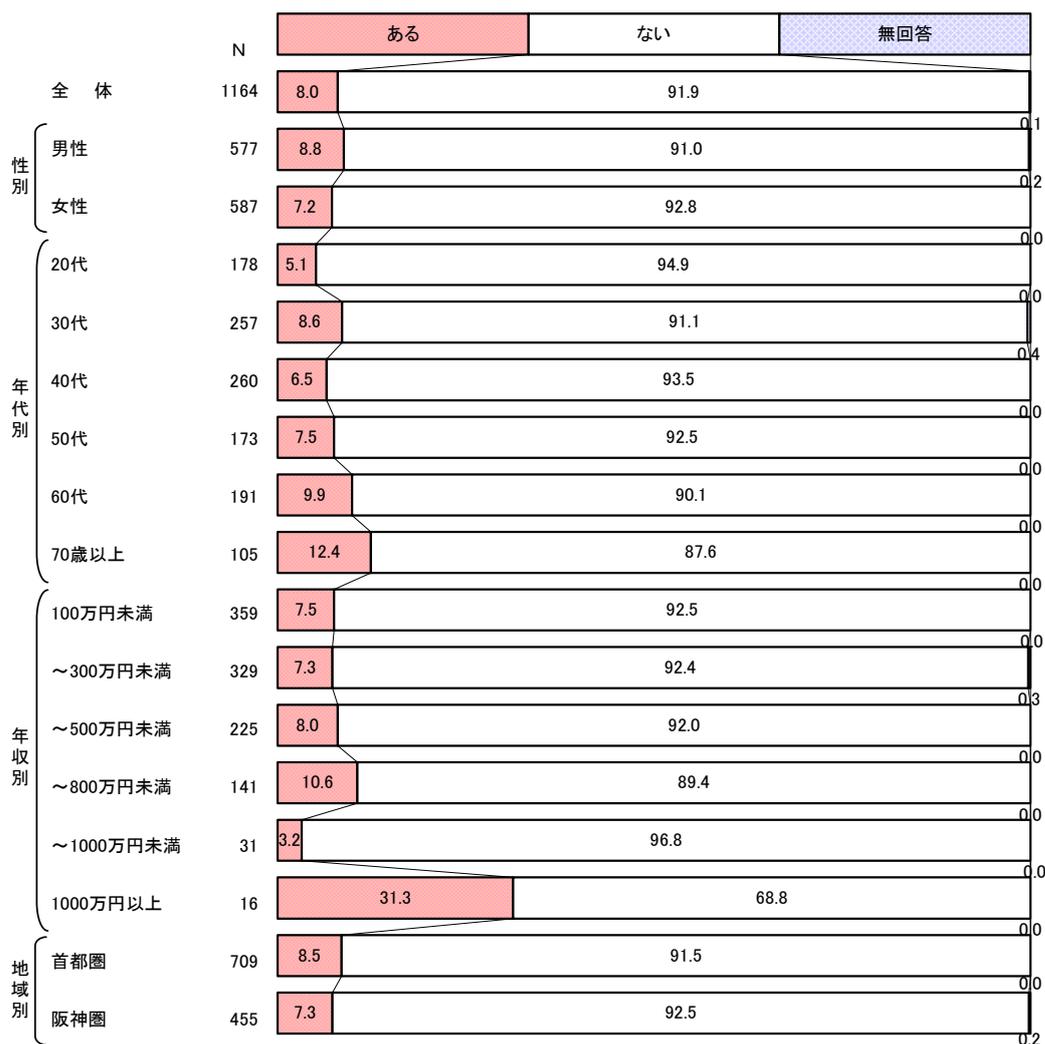
問 22 【投資信託の購入意向(単数回答)／時系列－投資信託認知者・保有未経験層ベース】



問 22 【投資信託の購入意向(単数回答)／対象者属性別

－投資信託認知者・保有未経験層ベース】

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



(2) 投資信託の非購入理由

投資信託保有未経験者が投資信託を購入しなかった理由は、「投資信託がよくわからないので不安」が 65.5%で特に高い。次いで「元本保証がない」(35.0%)が続くが、これら以外の理由は20%に満たず、これら2つが主な非購入理由となっている。

時系列でも、大きな変化はみられない。

対象者属性別にみると、性別では、女性は男性より「投資信託がよくわからないので不安」が高いが、「元本保証がない」は低い。

年代別では、「投資信託がよくわからないので不安」は30代を中心としたどの層でも高め。「元本保証がない」は50～60代では高いが、20代では低い。「どこで売っているのかわからない」は20代で高い。

年収別では、「投資信託がよくわからないので不安」は年収が高いほど低いが、「元本保証がない」は年収が高いほど高くなる傾向となっている。

地域別では、首都圏は阪神圏に比べ「少額では購入しづらい」が高い。

投資信託保有状況・購入意向別にみると、購入意向層は「投資信託がよくわからないので不安」と「元本保証がない」が同率(49.5%)で並んでいる。また、「少額では購入しづらい」「株式と同様に値上がり、値下がりが激しい」などは非購入意向層よりも高い。非購入意向層では「投資信託がよくわからないので不安」(66.9%)が特に高く、全体の7割を占める。

問 23【投資信託の非購入理由(重複回答)／時系列

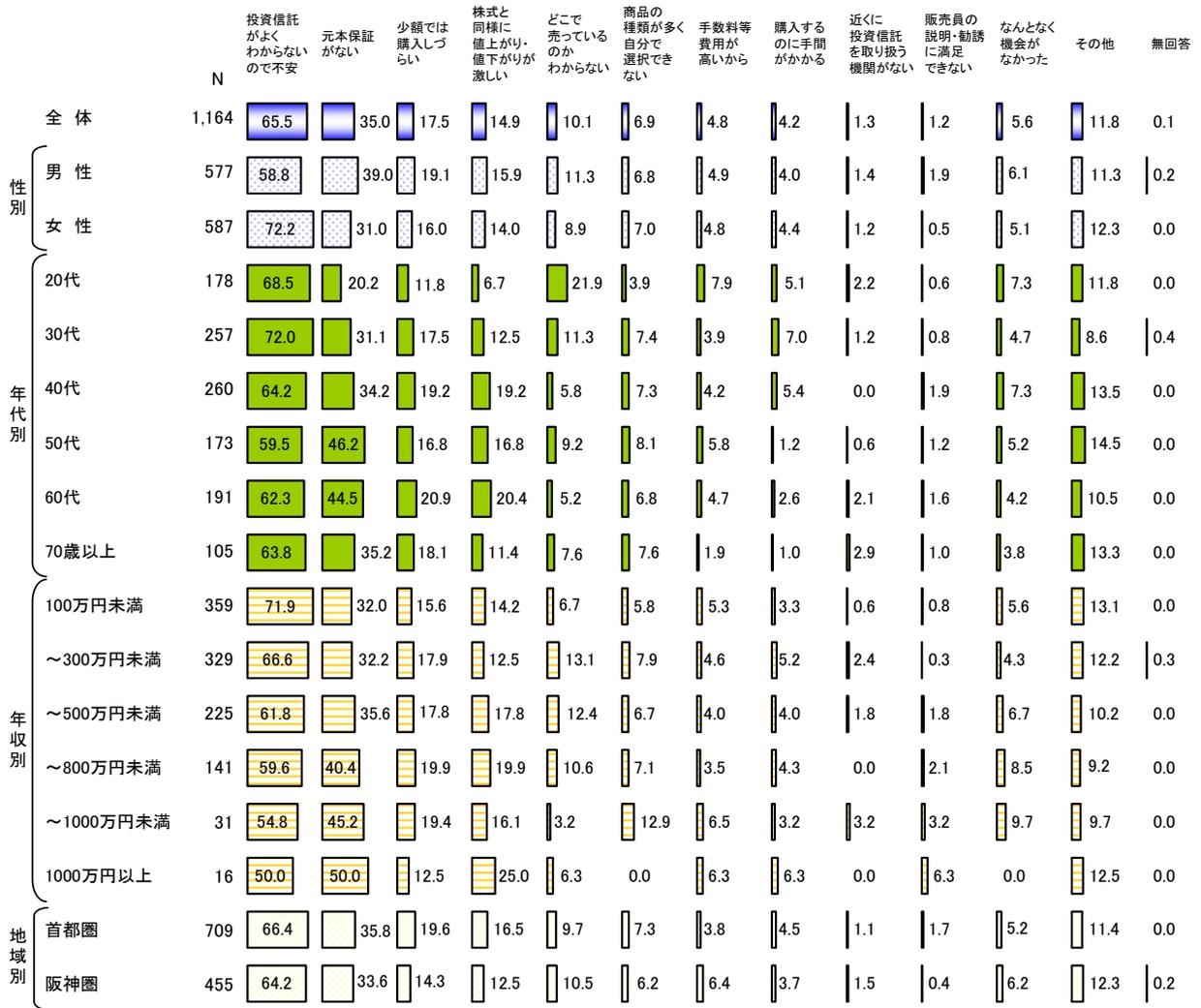
－投資信託認知者・保有未経験層ベース

	N	投資信託がよくわからないので不安	元本保証がない	少額では購入しづらい	株式と同様に値上がり・値下がりが激しい	どこで売っているのかわからない	商品の種類が多く自分で選択できない	手数料等費用が高いから	購入するのに手間がかかる	近くに投資信託を取り扱う機関がない	販売員の説明・勧誘に満足できない	なんとなく機会がなかった	その他	無回答
平成25年	1164	65.5	35.0	17.5	14.9	10.1	6.9	4.8	4.2	1.3	1.2	5.6	11.8	0.1
平成23年	1155	63.7	32.6	17.2	16.1	11.1	7.2	6.3	4.2	0.8	0.9	5.6	11.6	0.8
平成22年	1145	65.1	32.8	16.6	15.5	11.1	7.2	5.6	3.1	1.0	1.4	5.8	12.7	0.5
平成20年	1182	67.1	35.4	19.0	15.9	9.9	9.3	5.4	5.2	0.6	1.9	4.0	11.3	1.4
平成19年	1220	65.9	34.3	22.6	14.3	8.3	9.8	7.6	5.0	1.2	2.0	4.6	11.8	1.1

問 23 【投資信託の非購入理由(重複回答)】／対象者属性別

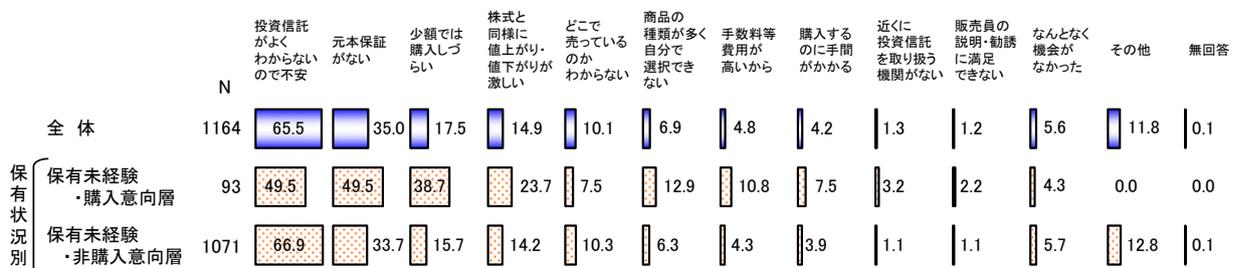
－投資信託認知者・保有未経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 23 【投資信託の非購入理由(重複回答)】／保有状況別

－投資信託認知者・保有未経験層ベース



(3) 投資信託購入検討のきっかけ

投資信託の購入を検討するきっかけとしては、「金融や投資を勉強して理解できたら」(35.9%)が最も高く、次いで「身近な人に勧められたら」(23.5%)と「手取り収入が増えたら」(23.1%)がほぼ同率で続く。

時系列でみると、前回に比べ全般的に個々の項目への反応率がアップしているが、これは「購入を検討したいとは思わない」を今回から削除した影響とみられる。

対象者属性別でみると、性別では、男性では「手取り収入が増えたら」が高いが、女性では「身近な人に勧められたら」「初心者向けセミナーなど、仕組みをわかりやすく説明してもらえる機会があったら」が高い。

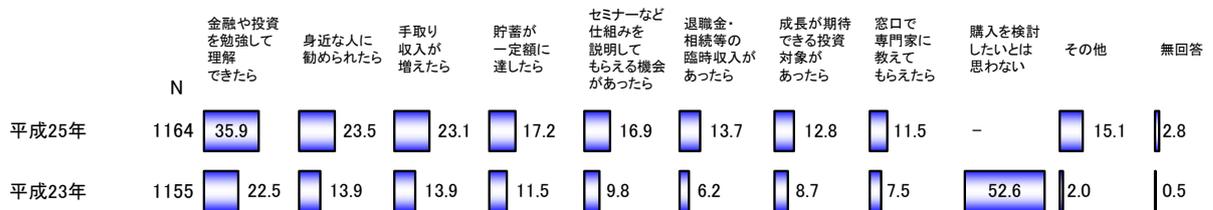
年代別では、「金融や投資を勉強して理解できたら」は若年層ほど高い傾向がみられ、「身近な人に勧められたら」「手取り収入が増えたら」も30代を中心とした層で高く、年代が上がるにつれ低くなる傾向がみられる。「退職金・相続等の臨時収入があったら」は40～50代を中心とした層でやや高い。

年収別では、「金融や投資を勉強して理解できたら」は年収が高い層ほどやや高く、「手取り収入が増えたら」は「～800万円未満」の層を中心とした層で高い。「成長が期待できる投資対象があったら」は「～1000万円未満」の層で特に高い。

地域別では、首都圏は阪神圏に比べ「身近な人に勧められたら」が高い。

投資信託保有状況・購入意向別にみると、購入意向層は多くの項目で非購入意向層より高く、多様な点がきっかけとなると考えられる。ただし、「手取り収入が増えたら」と「退職金・相続等の臨時収入があれば」では非購入意向層との差が小さい。

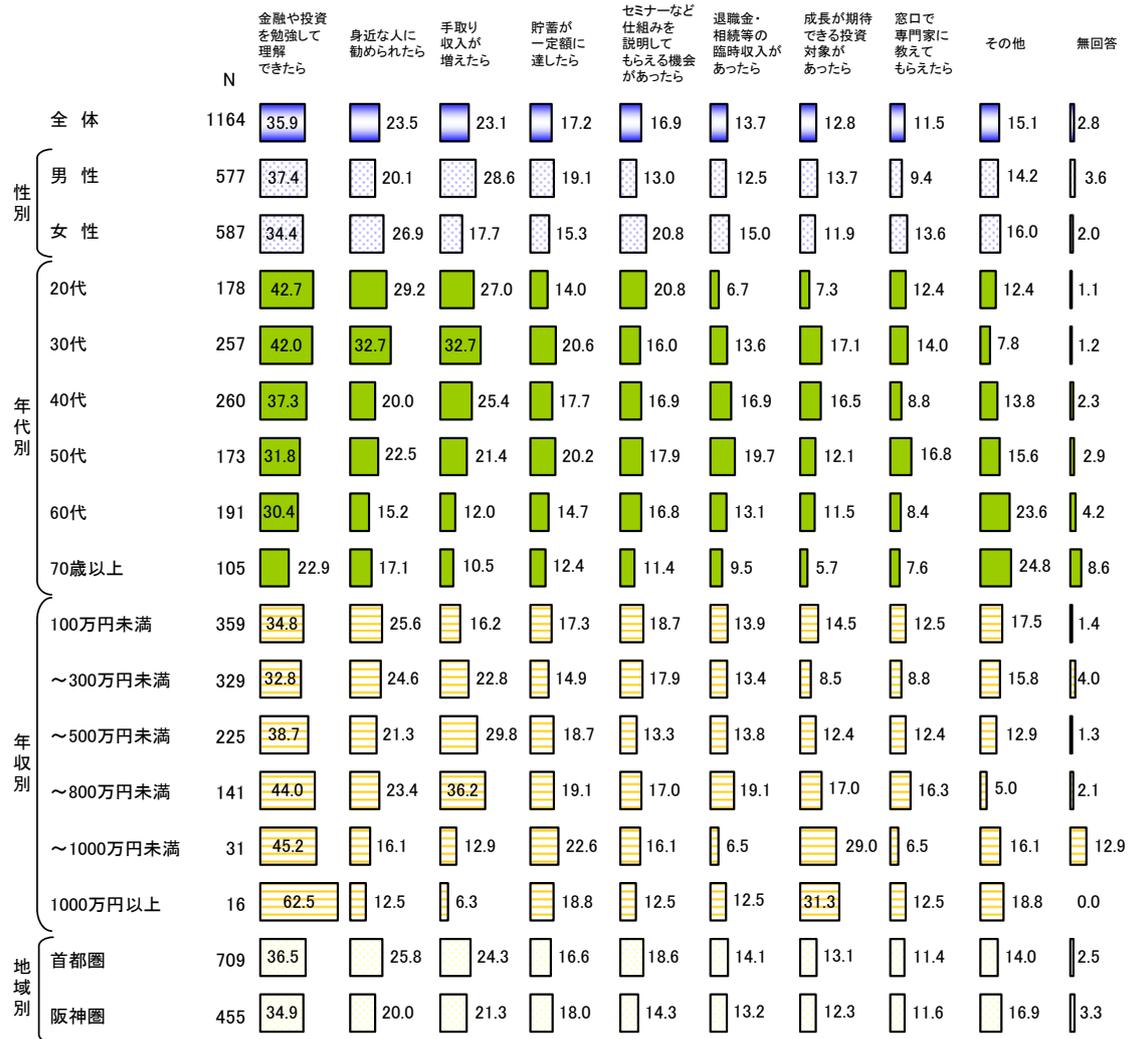
問 24 【投資信託購入検討のきっかけ(重複回答)】時系列ー保有未経験層ベース



※ 平成25年調査より「購入を検討したいとは思わない」を削除。

問 24 【投資信託購入検討のきっかけ(重複回答)】／対象者属性別－保有未経験層ベース

※N数(サンプル数)が少ない項目については、データを見る際に注意が必要。



問 24 【投資信託購入検討のきっかけ(重複回答)】／保有状況別－保有未経験層ベース

